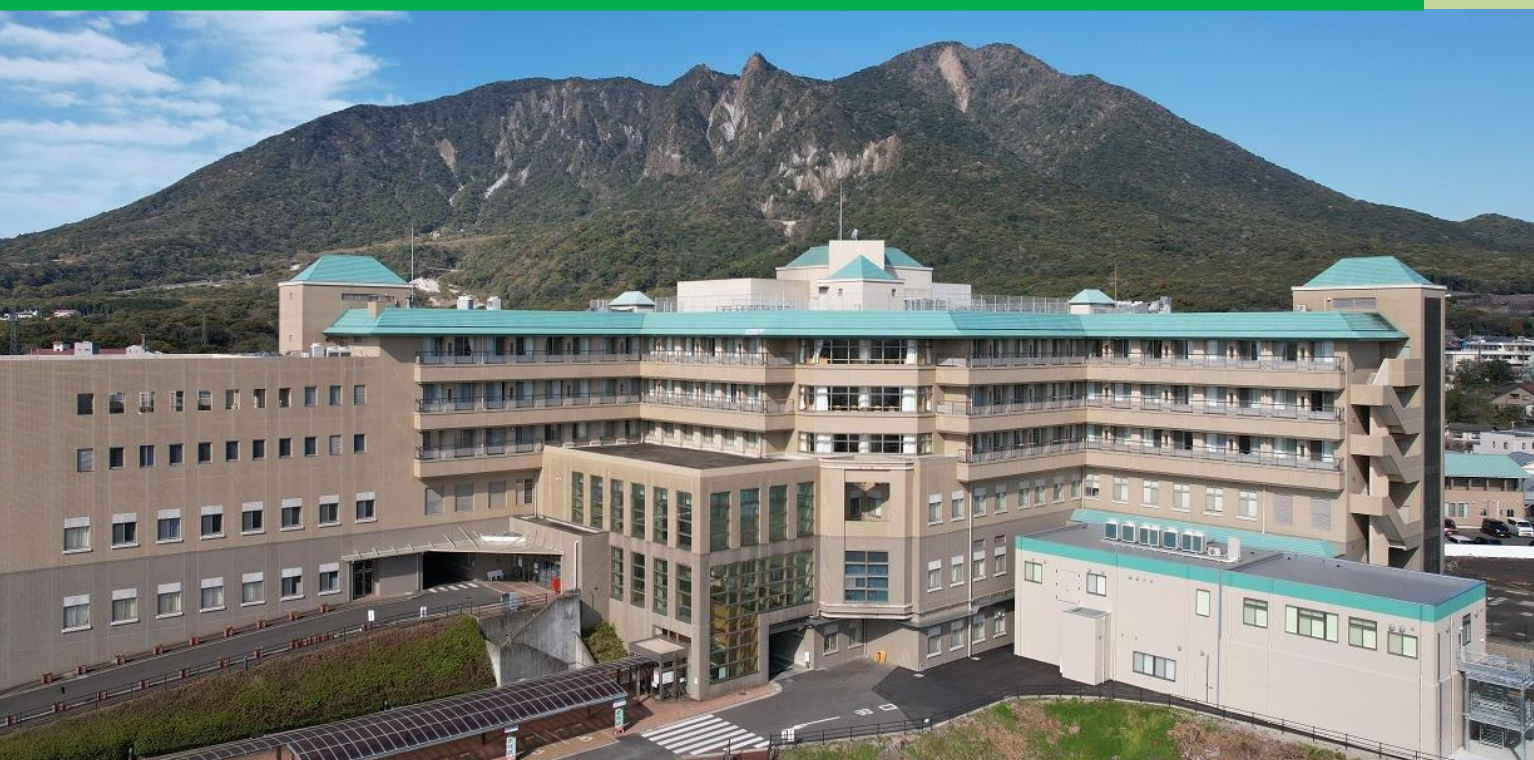


長崎県病院企業団

長崎県島原病院

2023

腫瘍集計報告



長崎県島原病院
NAGASAKI PREFECTURE SHIMABARA HOSPITAL

2023年1月～2023年12月

目次

腫瘍集計 2023

部位別登録件数	4
登録件数(全体・男性・女性)	5
部位別登録件数(全体)	5
部位別登録件数 上位5部位	6
症例区分	7
診断時住所別(県南区域)	8
年齢の割合	9
来院経路	10
2019～2023 年次推移	11
登録件数の推移	12
部位別登録件数の推移	12
診断時住所・部位別 3市(島原市・南島原市・雲仙市)の推移	14
男女別 年齢6階級別登録件数の推移	17
症例区分の推移	19
来院経路の推移	21
発見経緯の推移	24
前立腺がんについて	27
院内がん登録室より	30

部位別登録件数(574 件)

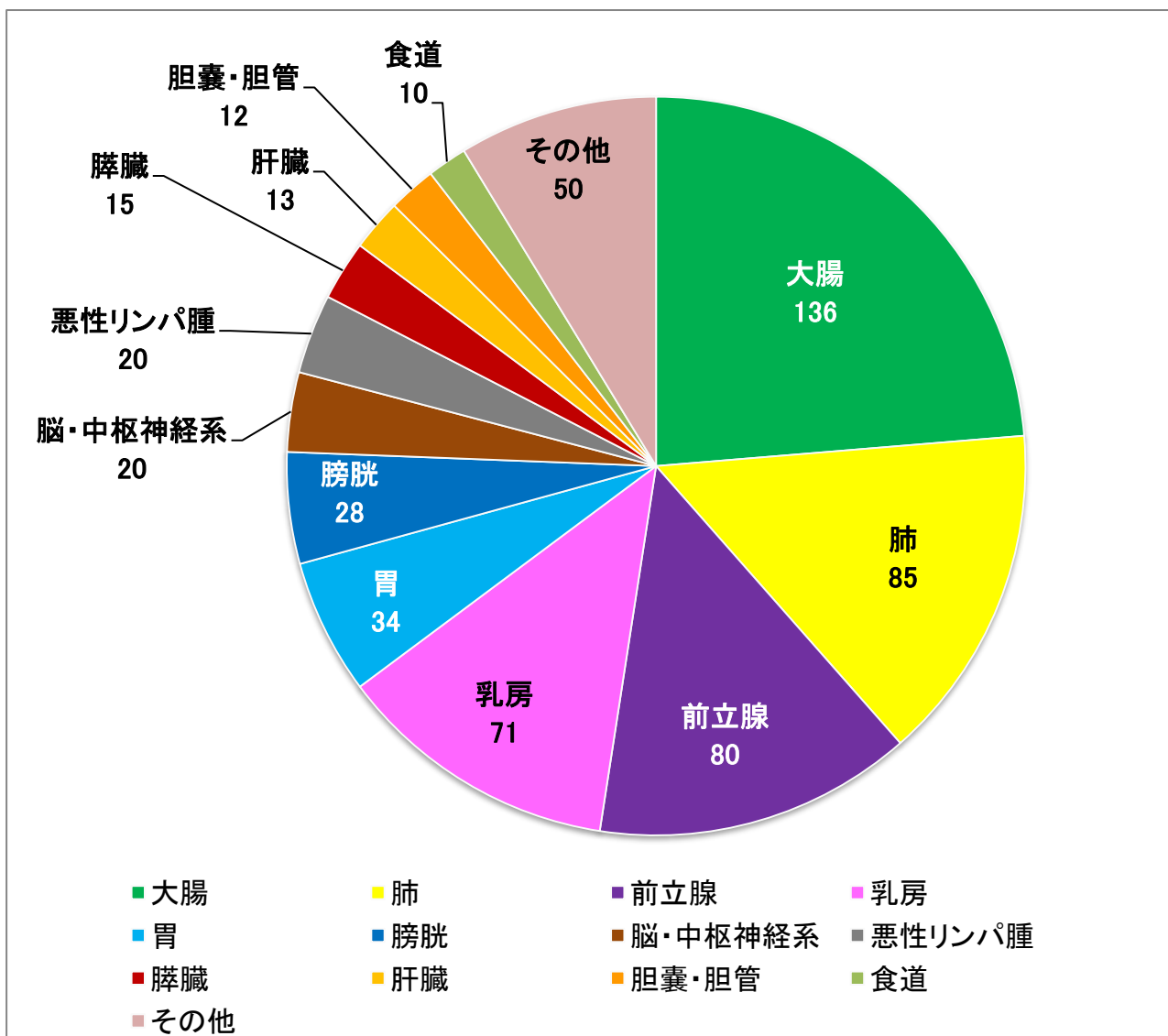
部位	ICD-O-3 部位コード	件数	%
口腔・咽頭	C00-C14	10 未満	--
食道	C15	10	(1.7%)
胃	C16	34	(5.9%)
結腸	C18	103	(17.9%)
直腸	C19-C20	33	(5.7%)
肝臓	C22	13	(2.3%)
胆嚢・胆管	C23-C24	12	(2.1%)
膵臓	C25	15	(2.6%)
喉頭	C32	10 未満	--
肺	C33-C34	85	(14.8%)
骨・軟部	C40-C41、C47、C49	10 未満	--
皮膚(黒色腫を含む)	C44	10 未満	--
乳房	C50	71	(12.4%)
子宮頸部	C53	0	--
子宮体部	C54	0	--
子宮	C55	0	--
卵巣	C56	10 未満	--
前立腺	C61	80	(13.9%)
膀胱	C67	28	(4.9%)
腎・他の尿路	C64-C66、C68	10 未満	--
脳・中枢神経系	C70、C71、C72、 C751-C753	20	(3.5%)
甲状腺	C73	10 未満	--
悪性リンパ腫	759-972 974-975	20	(3.5%)
多発性骨髄腫	973、976	10 未満	--
白血病	980-994	10 未満	--
他の血液	C421、995-998、999	10 未満	--
その他		10 未満	--
合計		574	

※緑色数字は、ICD-O-3 形態コード

登録件数(全体・男性・女性)

	件数	%
全体	574	
男性	351	(61.1%)
女性	223	(38.9%)

部位別登録件数(全体)

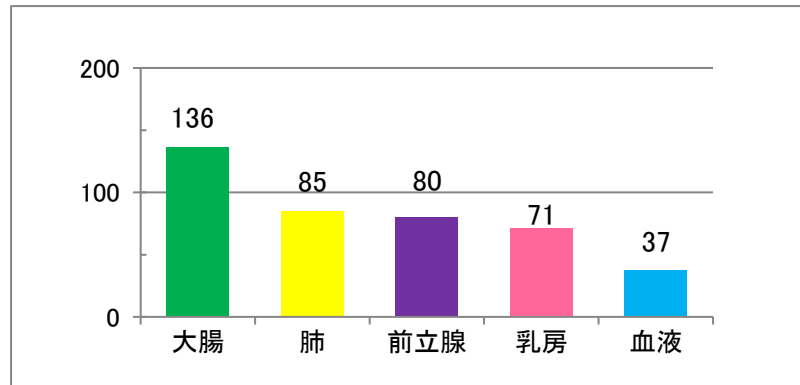


当院は、コロナ禍でも登録件数は増加していましたが、2023 年は減少しました。大腸がんなど全体的に減少が見られましたが、肺癌は横ばいでした。当院は婦人科がないため、婦人科がんの登録はほとんどありません。

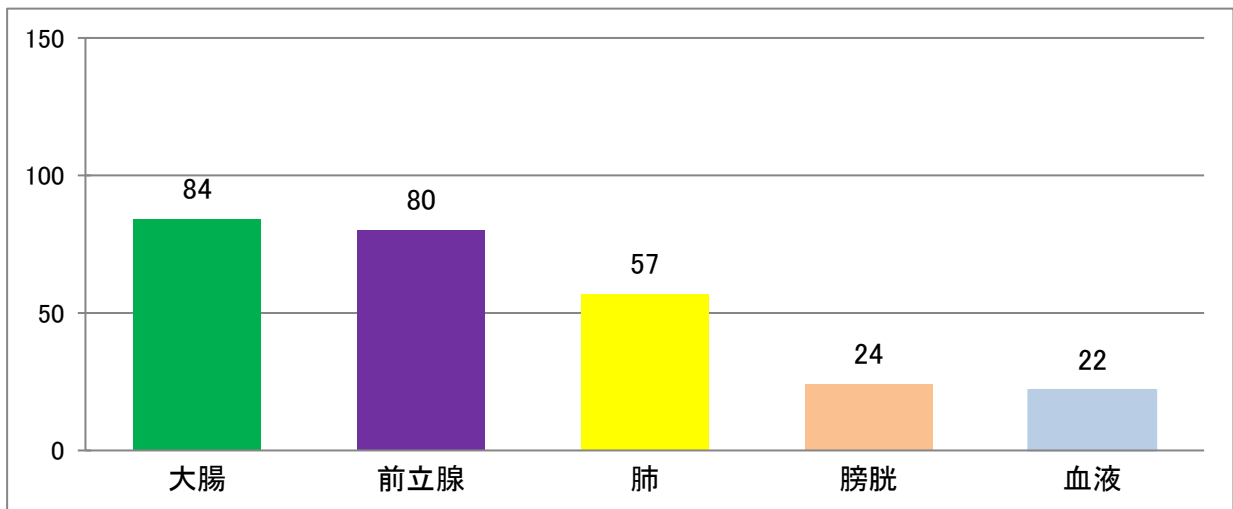
部位別登録件数 上位5部位

部位別登録件数(全体)

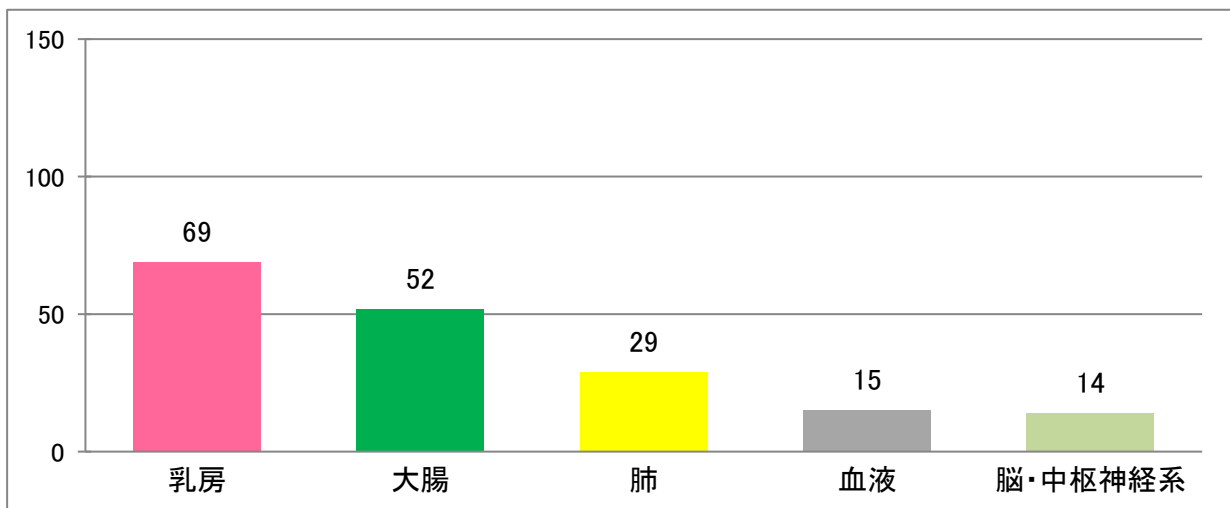
順位	部位名	件数
1	大腸	136
2	肺	85
3	前立腺	80
4	乳房	71
5	血液	37



部位別登録件数(男性)



部位別登録件数(女性)



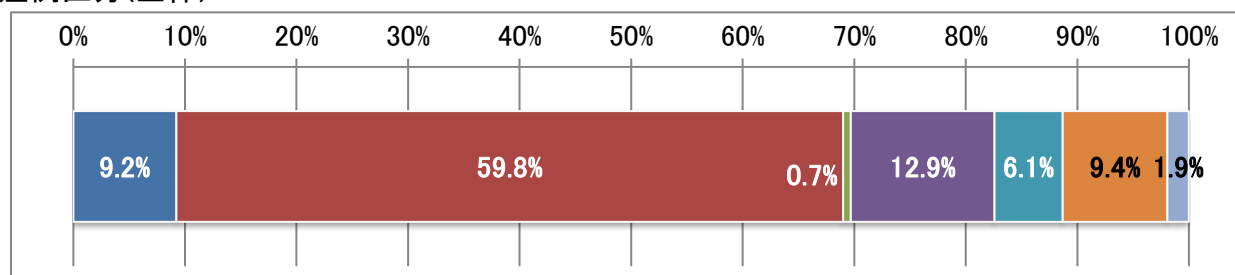
症例区分

症例区分とは；

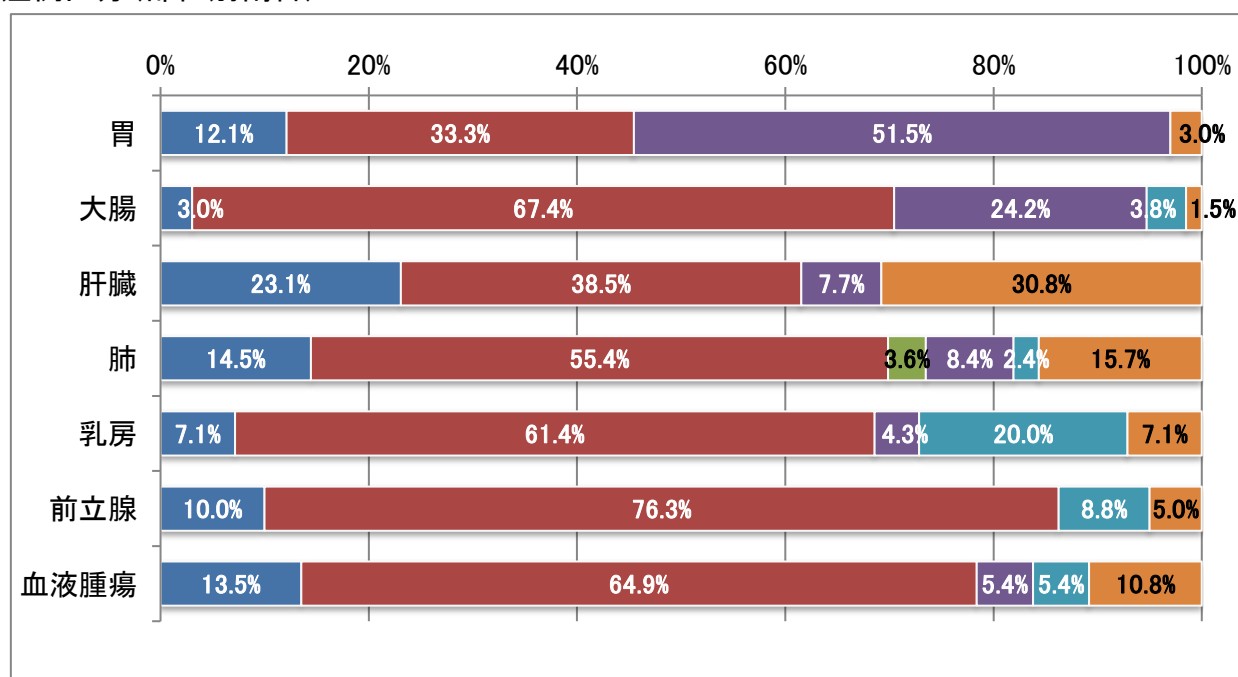
がん診療連携拠点病院が、がん診断から再発までの一連の治療の流れで、主にどのような役割を担っているかを推測するための項目です。

「当院で診断し治療した」と「他院で診断し治療した」を組み合わせた件数は 502 件約 8 割の方に治療を提供しています。

症例区分(全体)



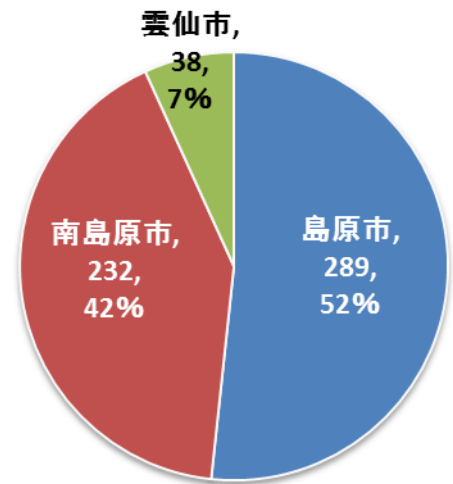
症例区分(部位別割合)



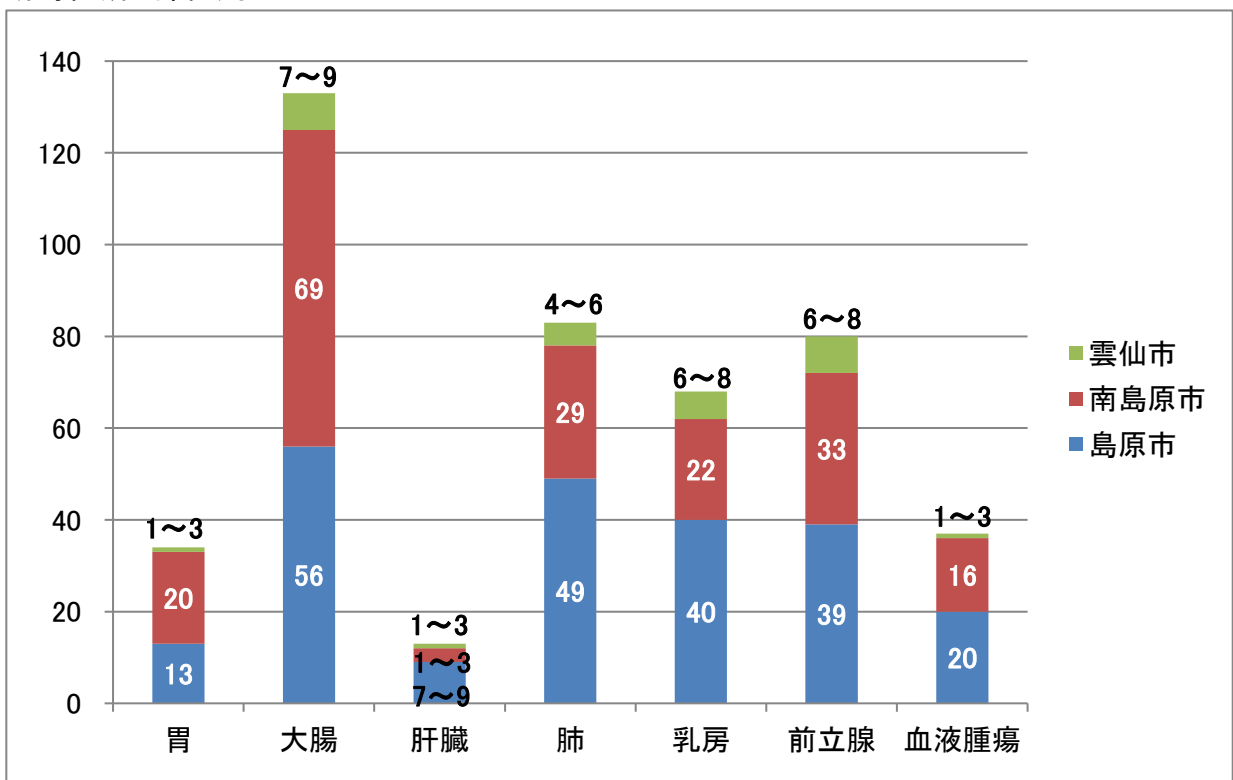
- **診断のみ**・・・自施設で診断したが、治療の施行は他施設へ紹介・依頼。
- **自施設診断・自施設初回治療開始**・・・自施設で診断および初回治療に関する決定をし、腫瘍そのものへの治療を開始。
- **自施設診断・自施設初回治療継続**・・・自施設で診断した後、他施設で初回治療が開始され、その後、自施設で初回治療の一部を実施。
- **他施設診断・自施設初回治療開始**・・・他施設で診断された後、自施設を受診し、自施設で腫瘍そのものへの治療を開始。
- **他施設診断・自施設初回治療継続**・・・他施設で診断した後、他施設で初回治療が開始され、その後、自施設で初回治療の一部を実施。
- **初回治療終了後**・・・他施設で初回治療終了後に自施設を受診した場合。自施設受診後の治療は問わない。
- **その他**・・・上記のいずれにも分類できない場合。他施設診断症例で、治療目的に紹介されたが、自施設では治療は行わず、他施設へ紹介した場合も含まれる。

診断時住所別(県南区域)

医療圏域			市町村	
医療圏域	登録件数	%	市町村	登録件数
県南圏域	559	97.4%	島原市	289
			雲仙市	38
			南島原市	232
長崎圏域	1~3	0.3%	その他	15
県央圏域	1~3	0.3%		
上五島圏域	1~3	0.2%		
長崎県外	10	1.7%		
合計				574



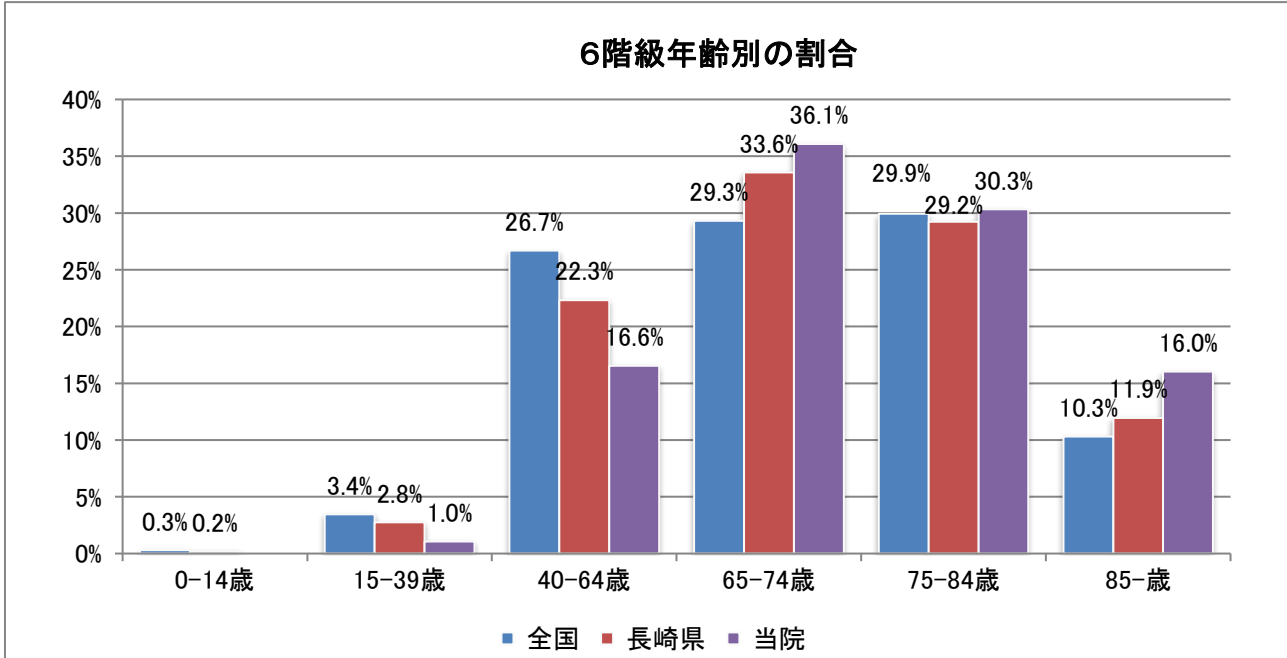
診断時住所 部位別



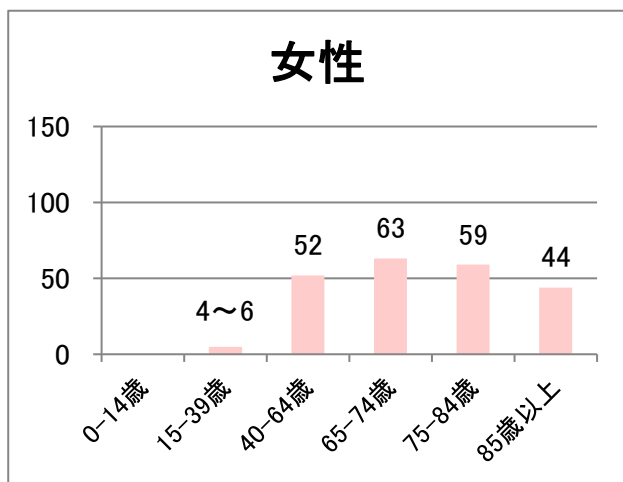
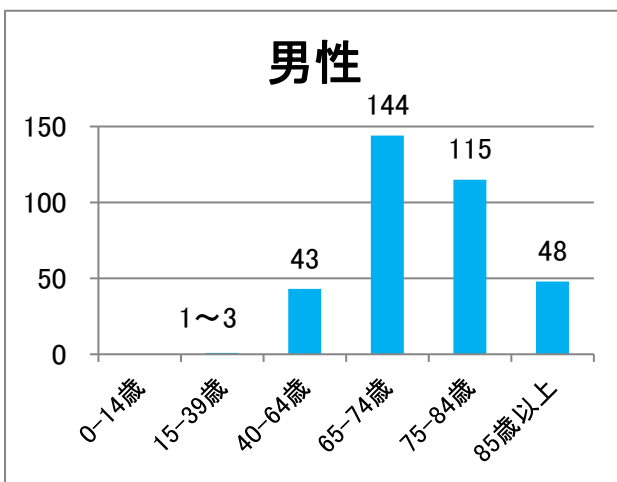
年齢の割合

当院の2023年診断症例の平均年齢は73.1歳で、全国の平均年齢では71.1歳になっています。

年齢6階級別登録件数 長崎県全体・全国値との比較



男女別 年齢6階級別登録件数

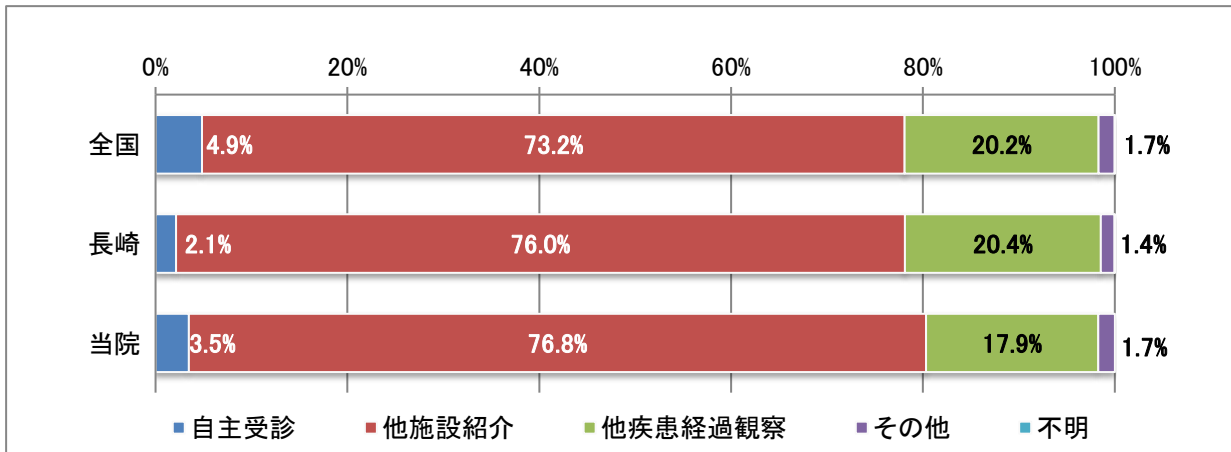


来院経路

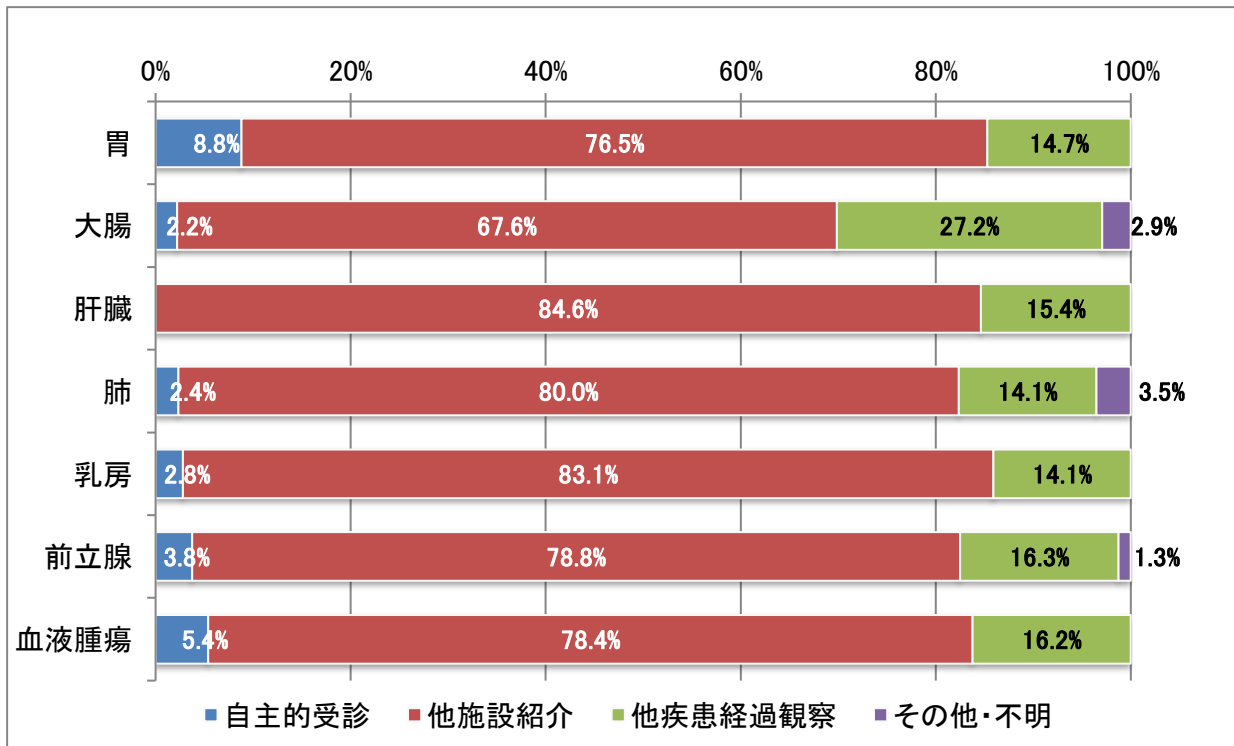
来院経路とは；

来院経路は、患者がどのような経路を経て自施設を受診したかを把握し、拠点病院が地域においてどのような機能を担っているのかを、他の医療機関との関係から推測するための項目です。

来院経路 長崎県全体・全国値との比較



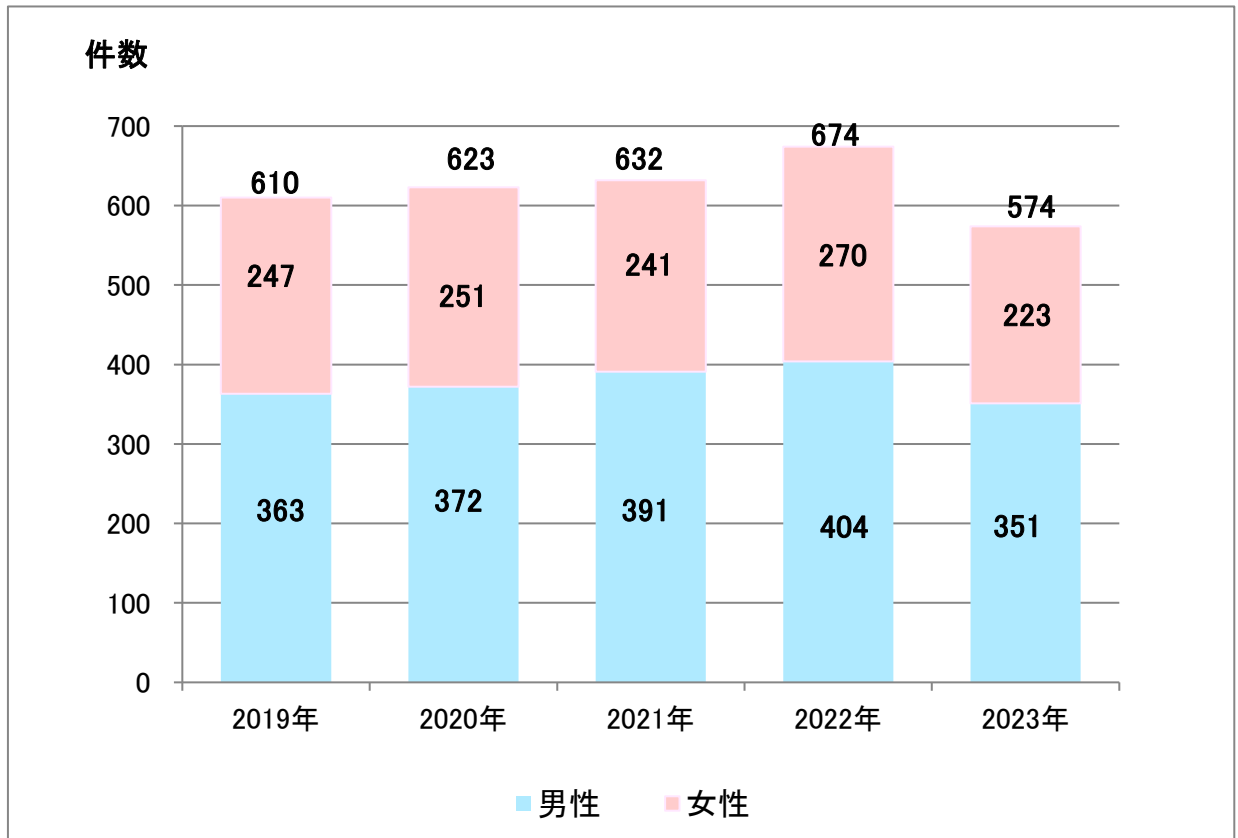
来院経路 部位別



最も多いのは他施設紹介、次いで他疾患経過観察でこの2区分で全体の95%程を占めています。

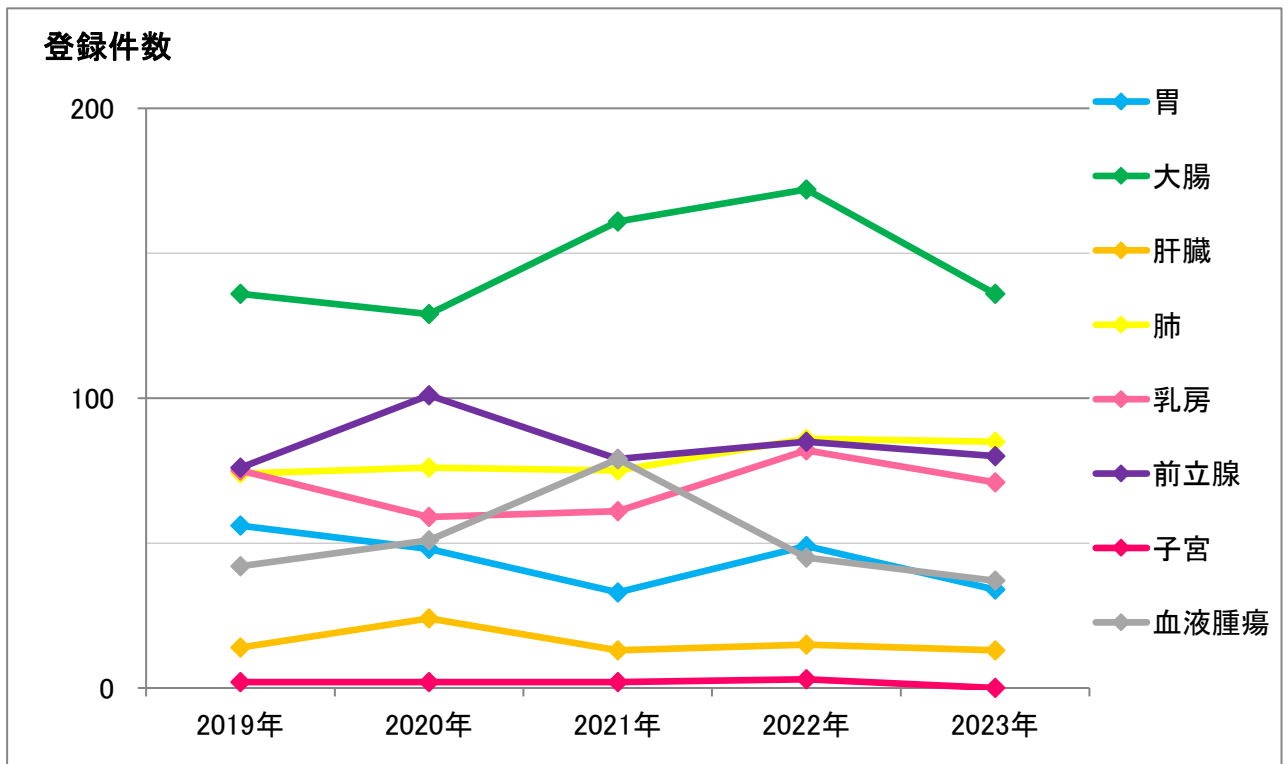
2019 年診断症例～2023 年診断症例 年次推移

登録件数の推移

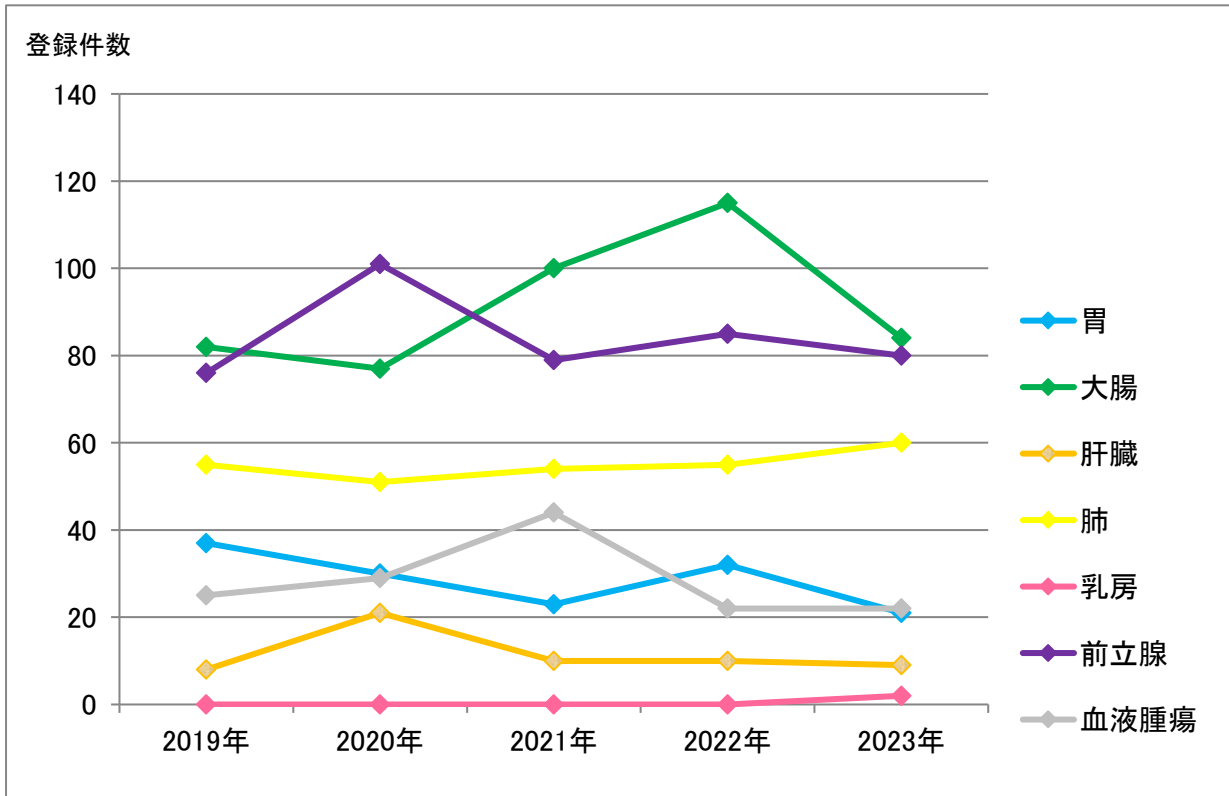


部位別登録件数の推移

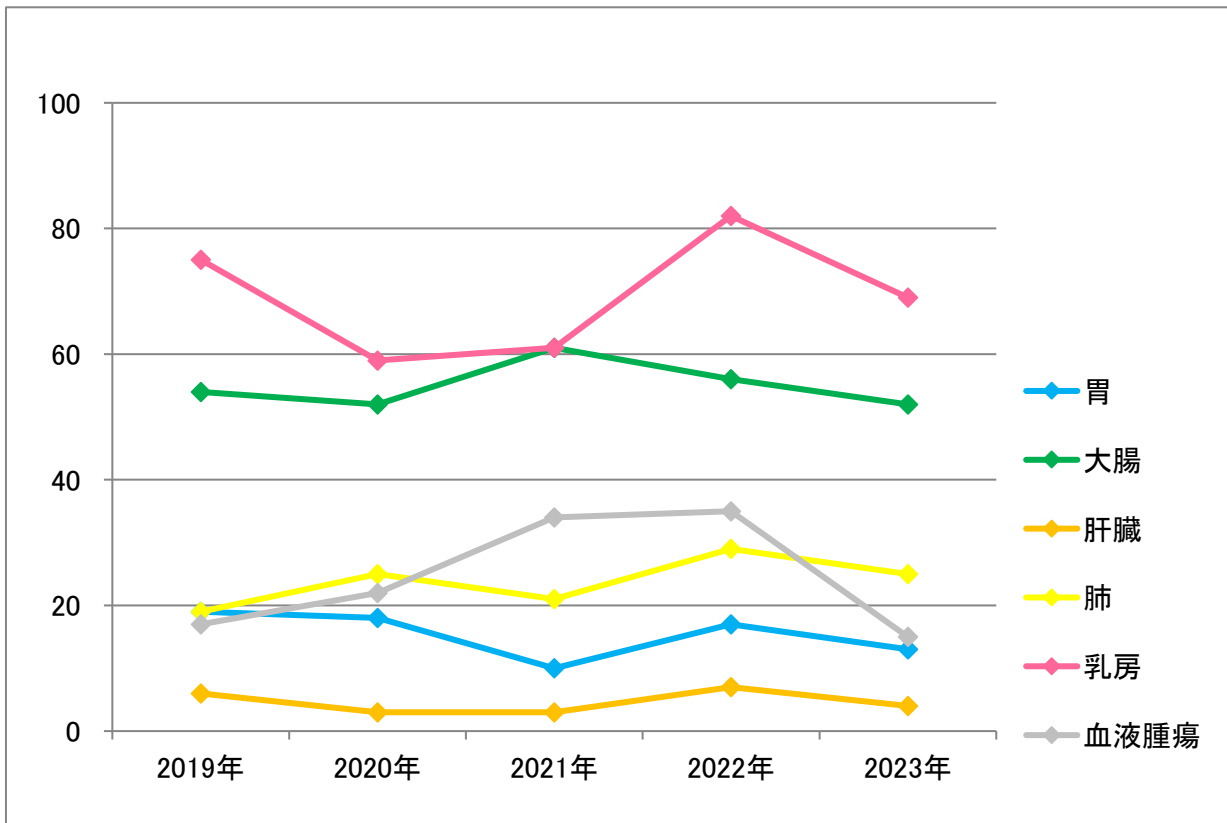
(全体)



(男性)

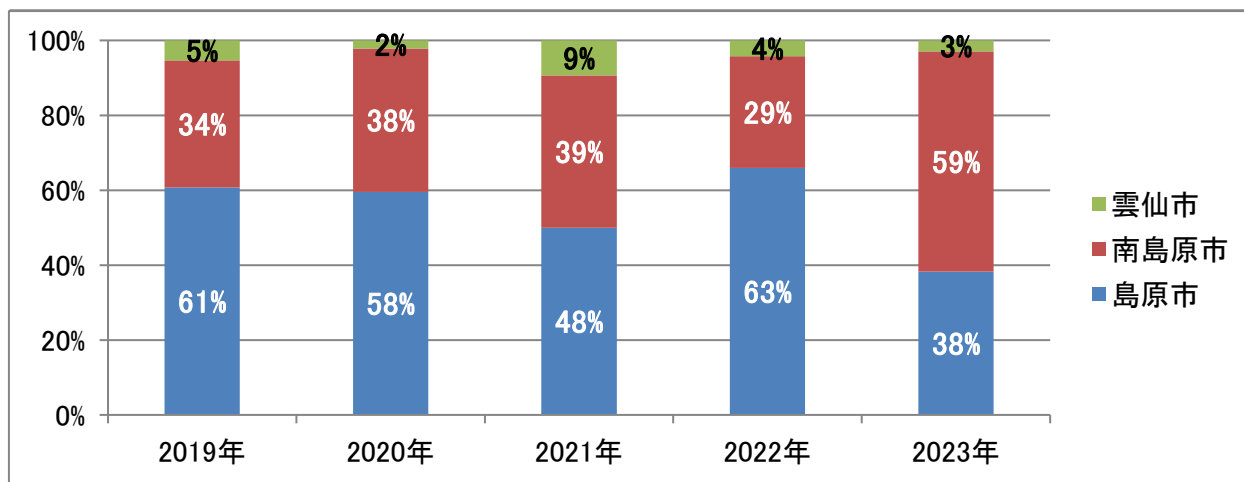


(女性)

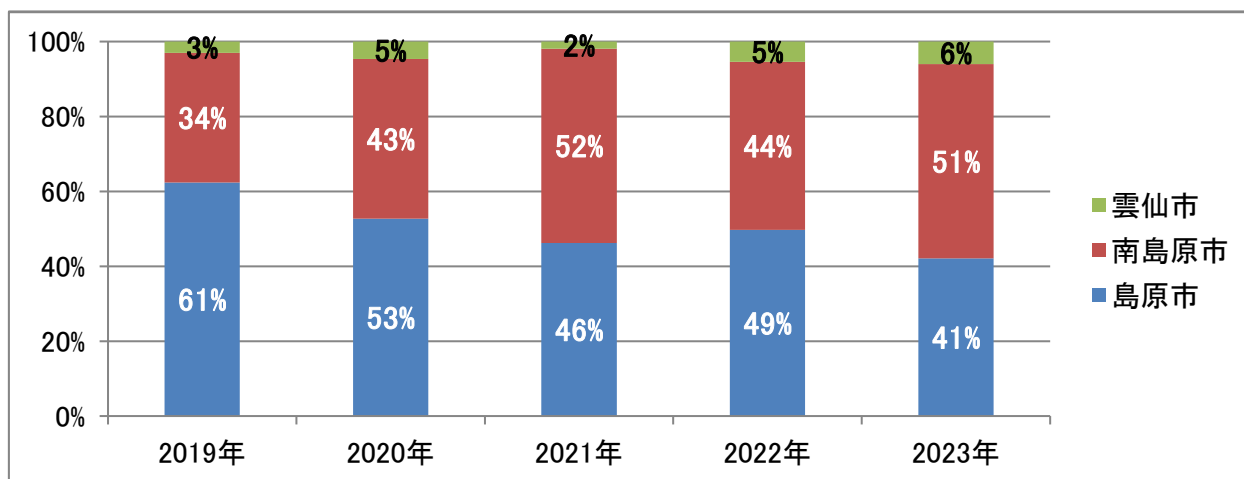


診断時住所・部位別 3市(島原市・南島原市・雲仙市)の推移

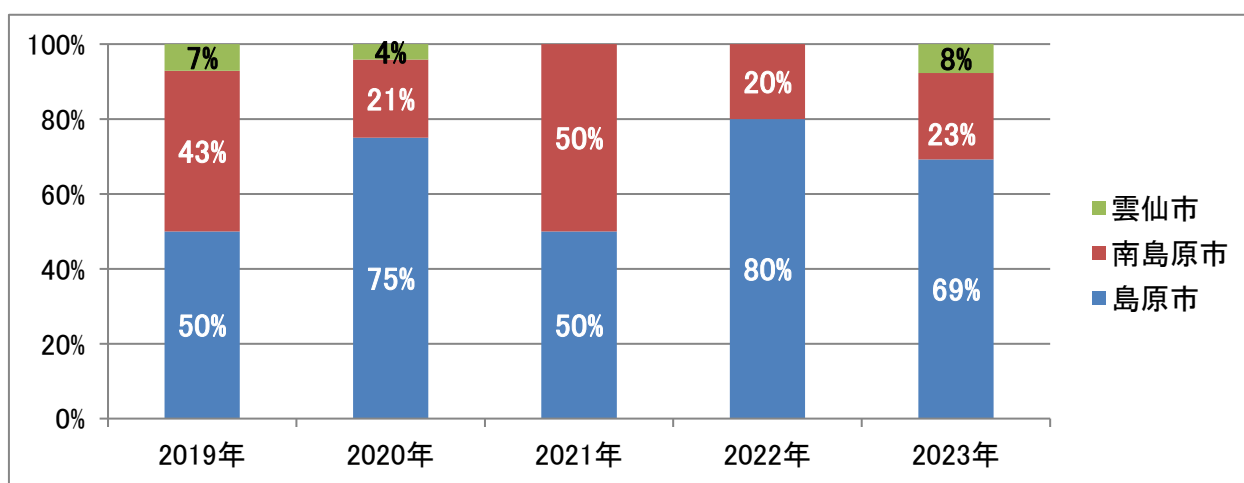
【胃】



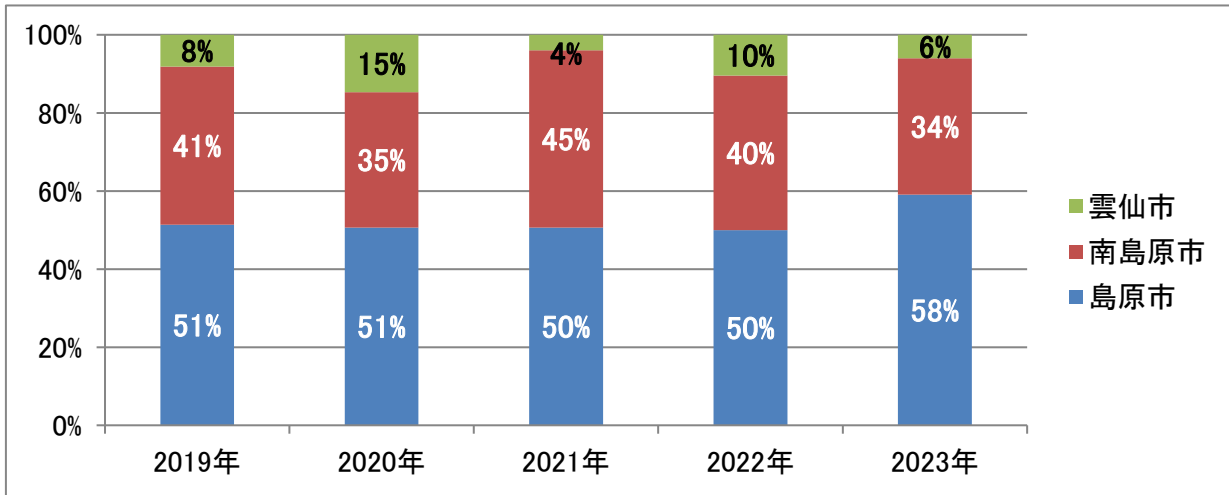
【大腸】



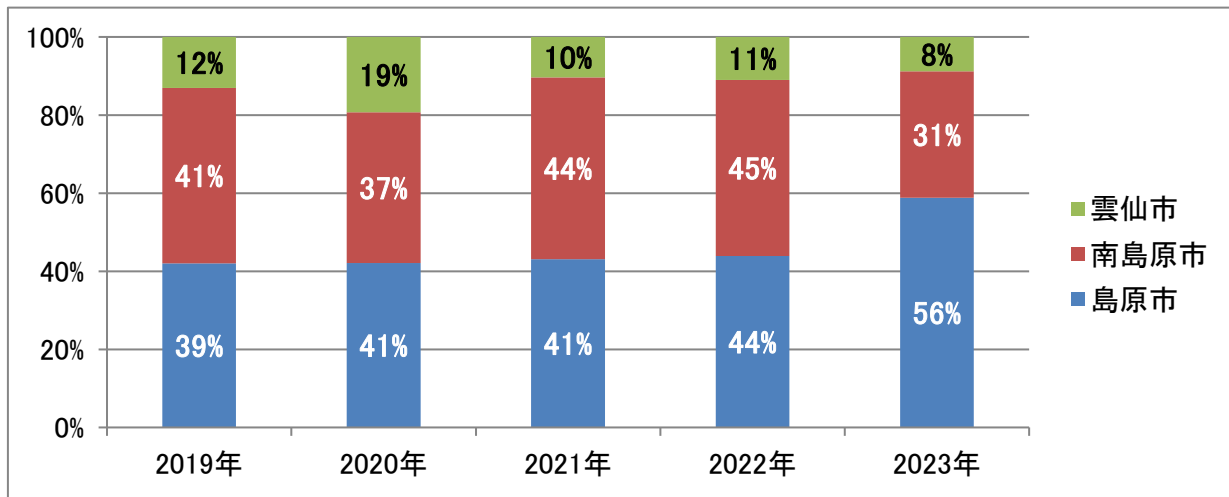
【肝臓】



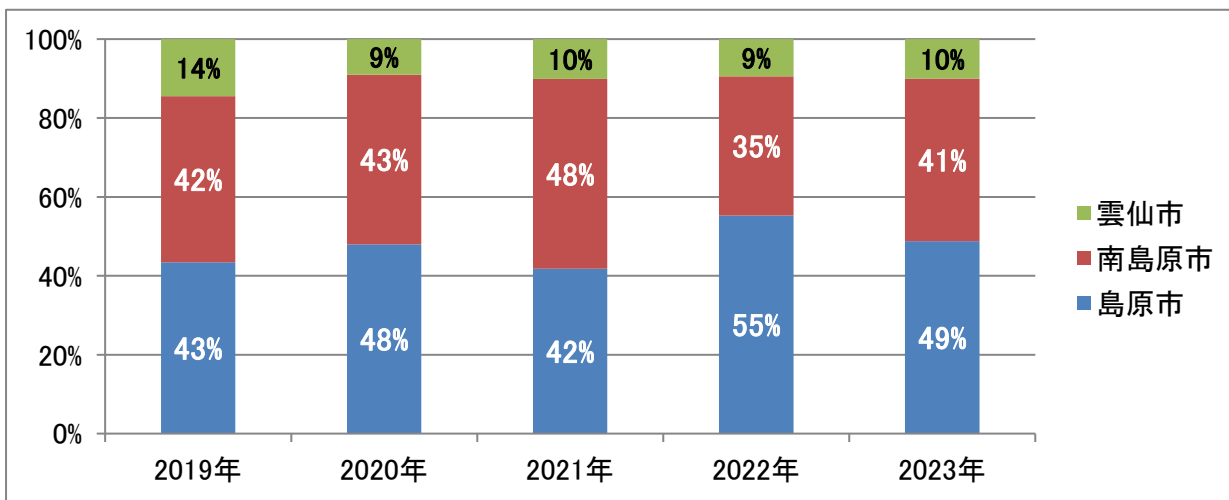
【肺】



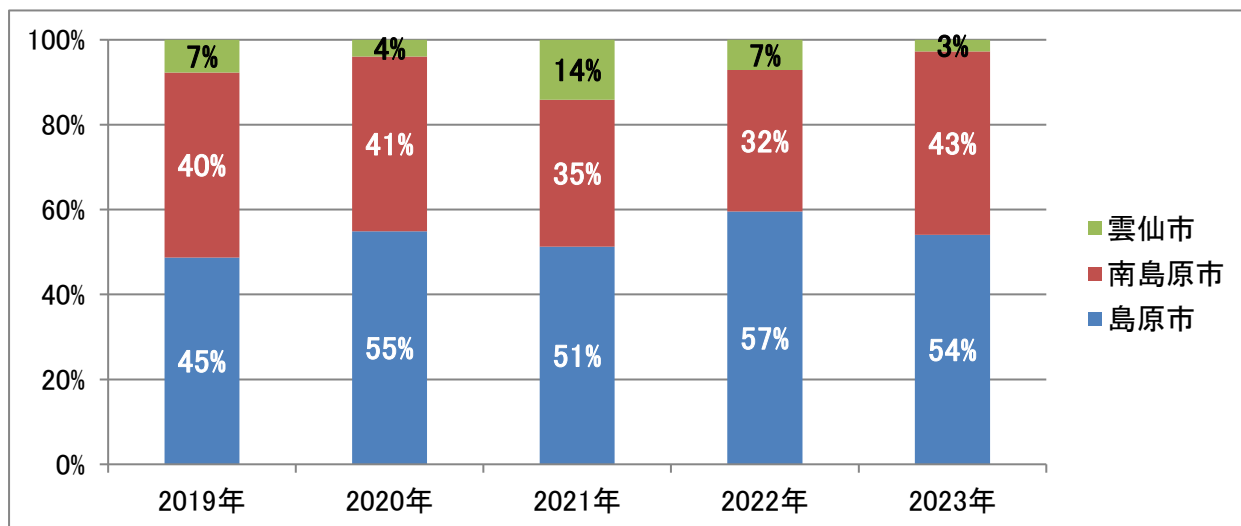
【乳房】



【前立腺】



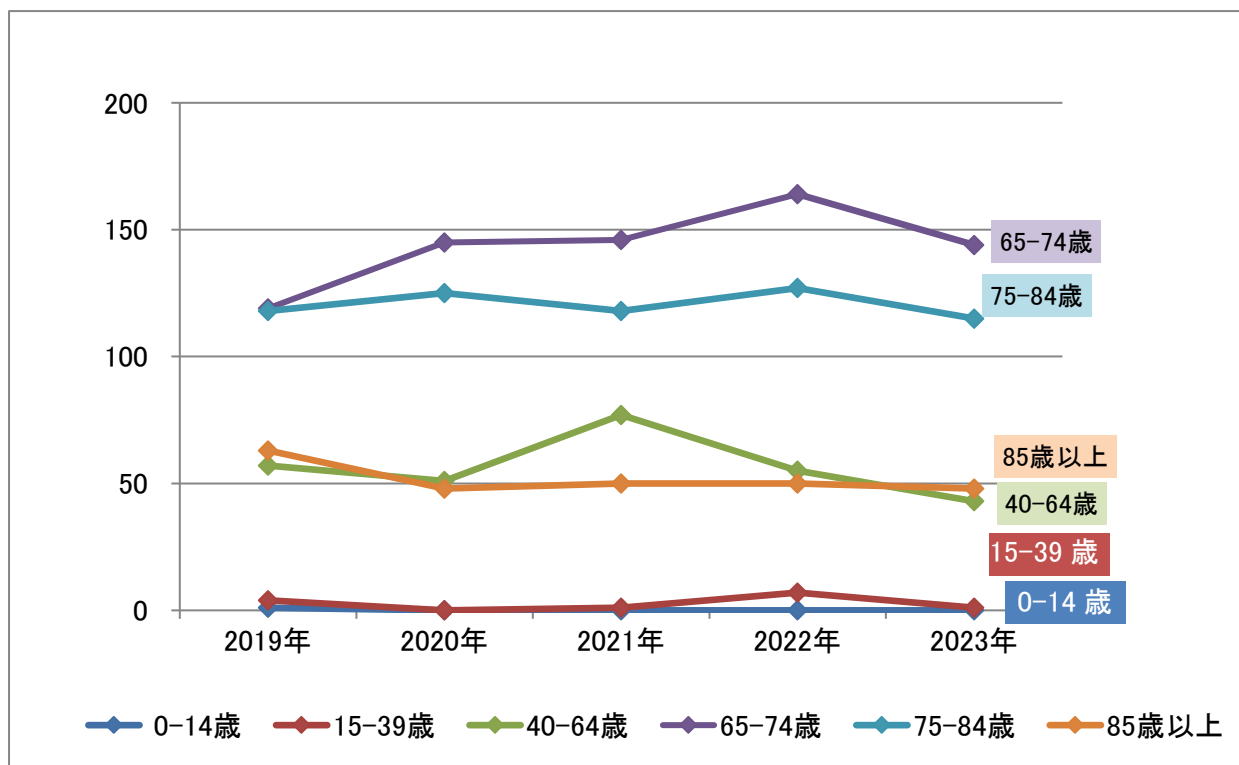
【血液腫瘍】



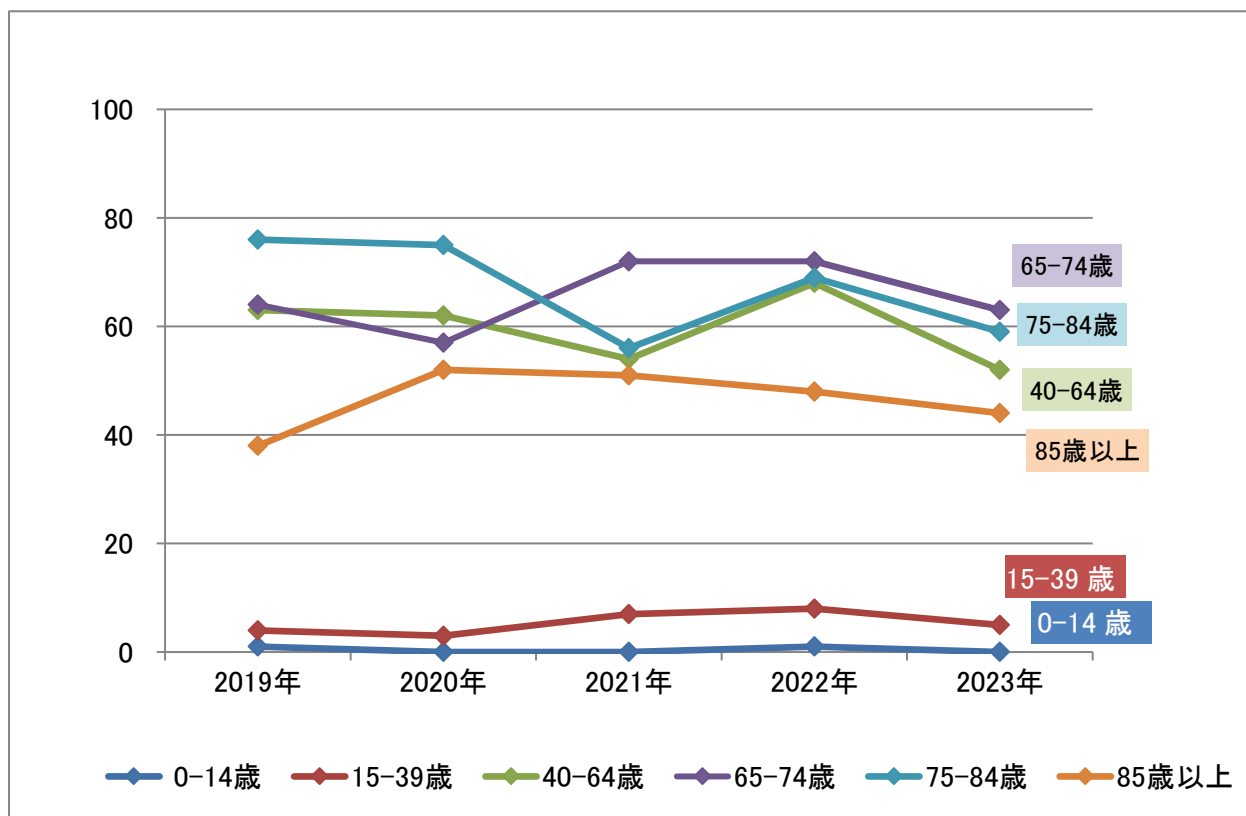
交通の利便性や各医療機関の所在等から島原市・南島原市からの受診が多く、県南圏域の92%になっています。

男女別 年齢6階級別登録件数の推移

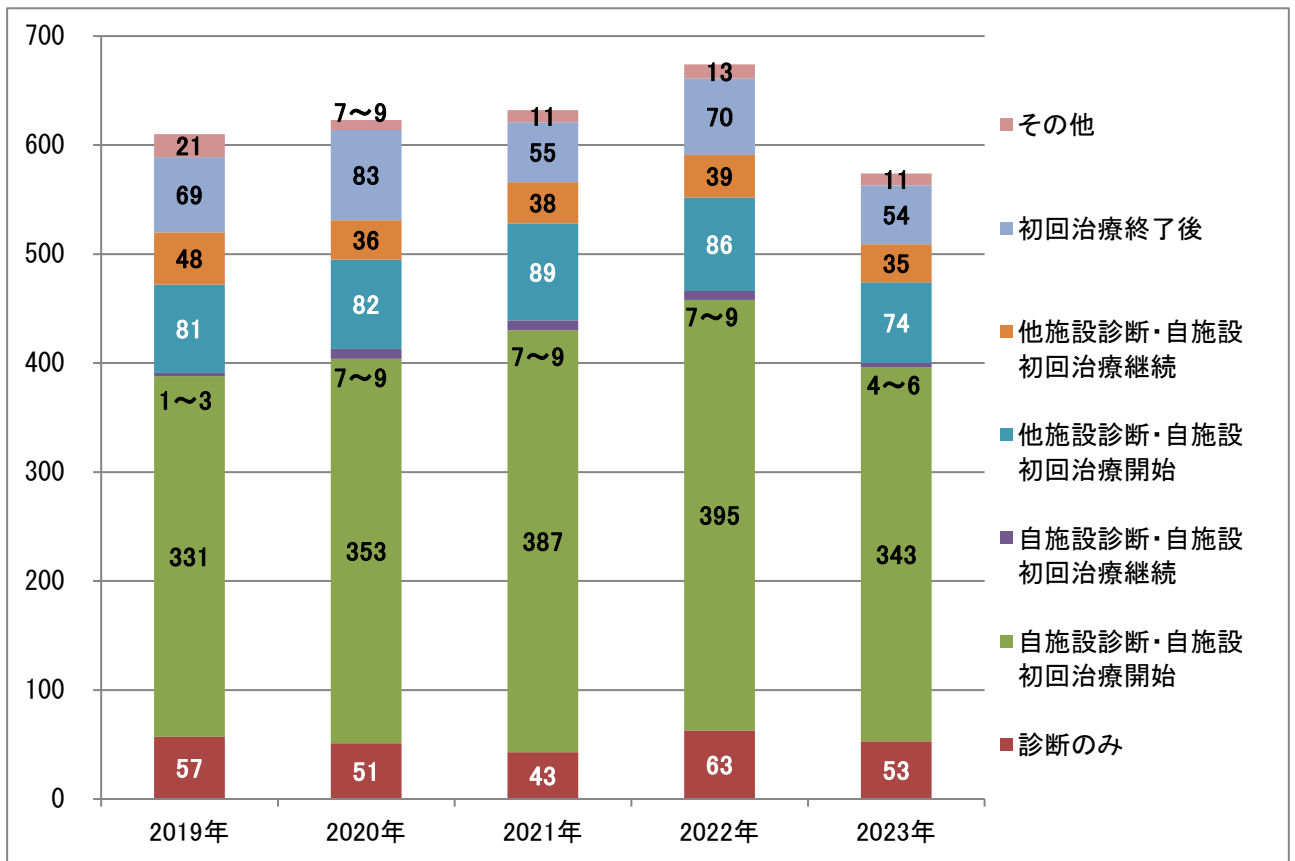
【男性】



【女性】

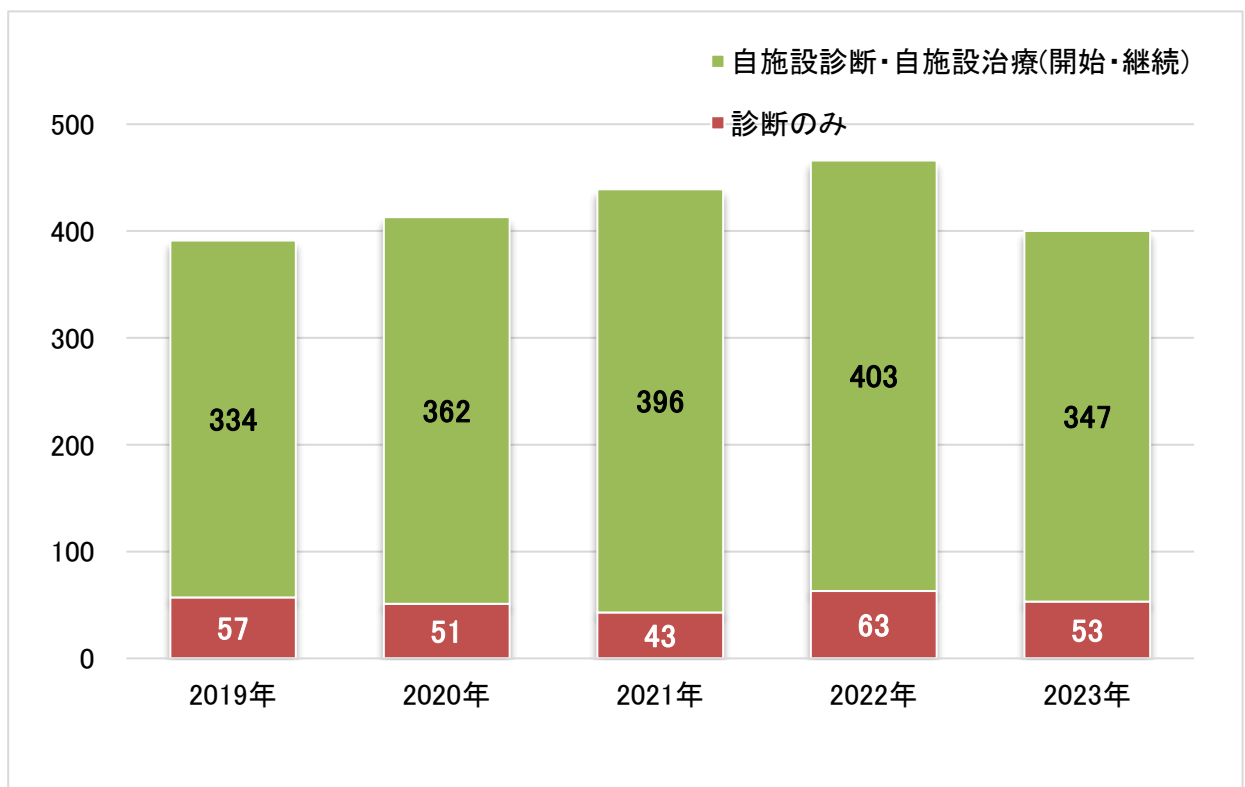


症例区分の推移



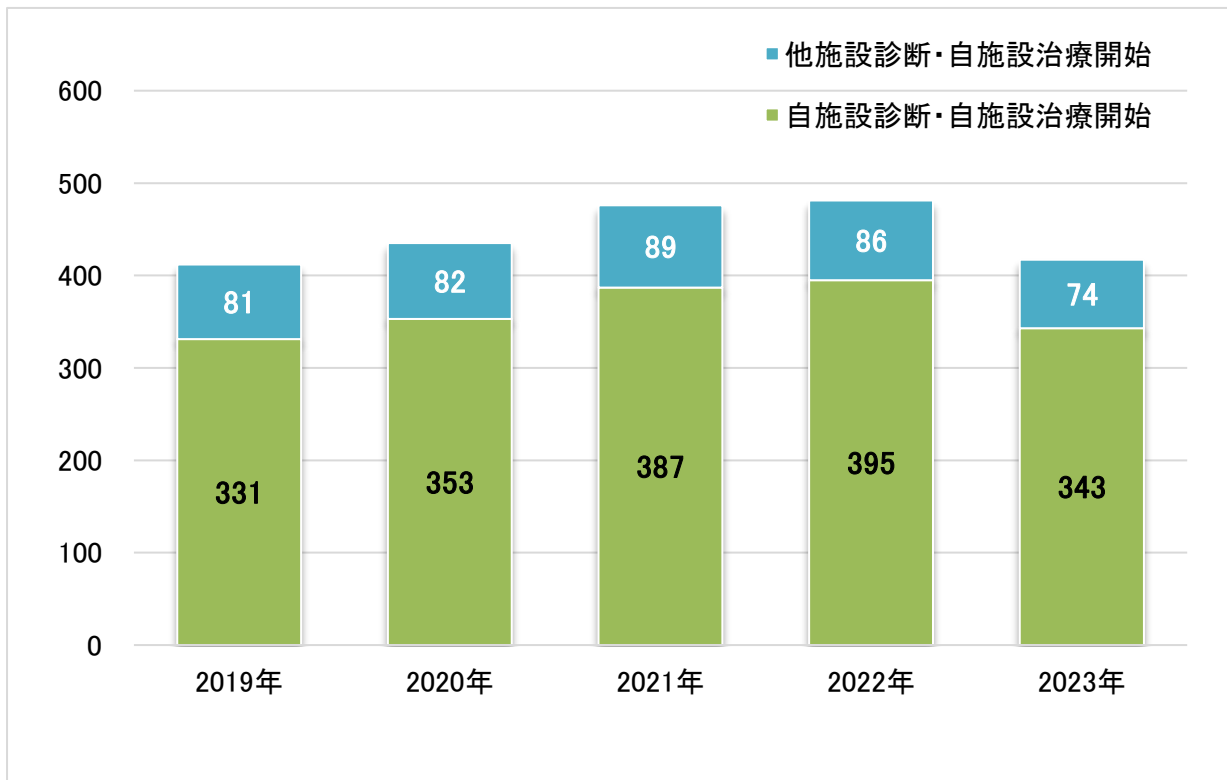
【自施設でがんと診断した症例の推移】

(診断のみ、自施設診断・自施設初回治療開始、自施設診断・自施設初回治療継続)



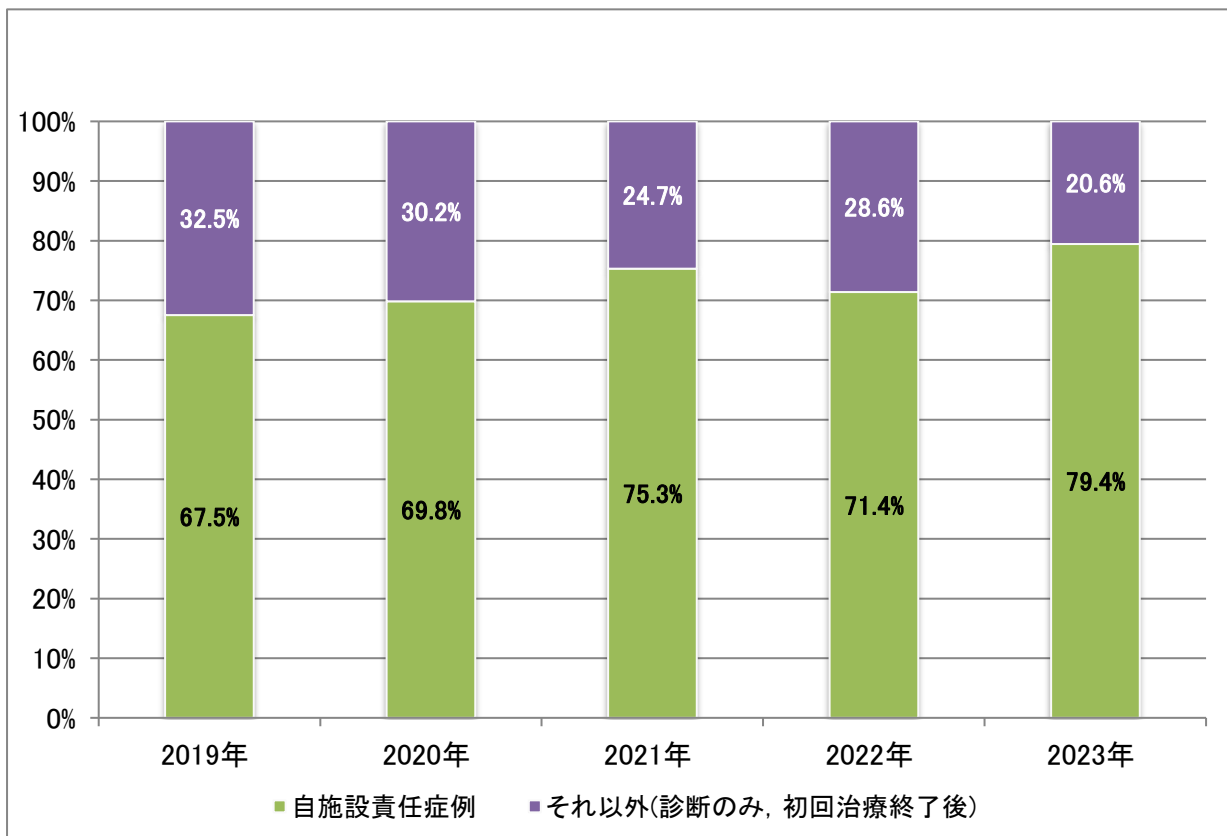
【自施設初回治療開始症例の推移】

(自施設診断・自施設治療開始、他施設診断・自施設治療開始)



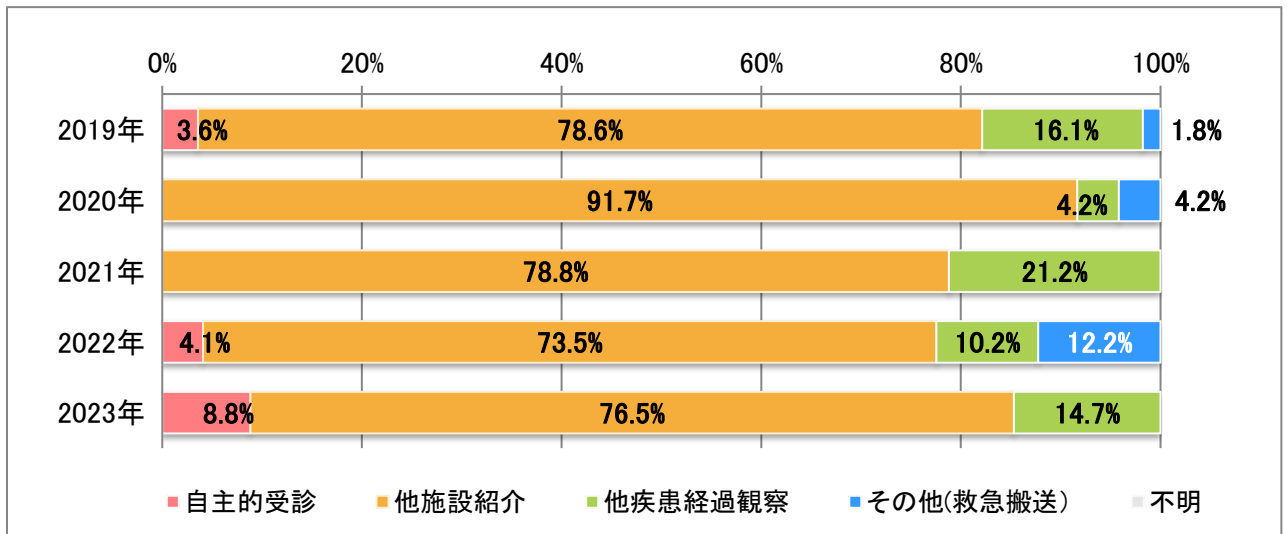
【自施設責任症例の割合の推移】

(自施設責任症例とは; 自施設初回治療開始または自施設初回治療継続の症例)

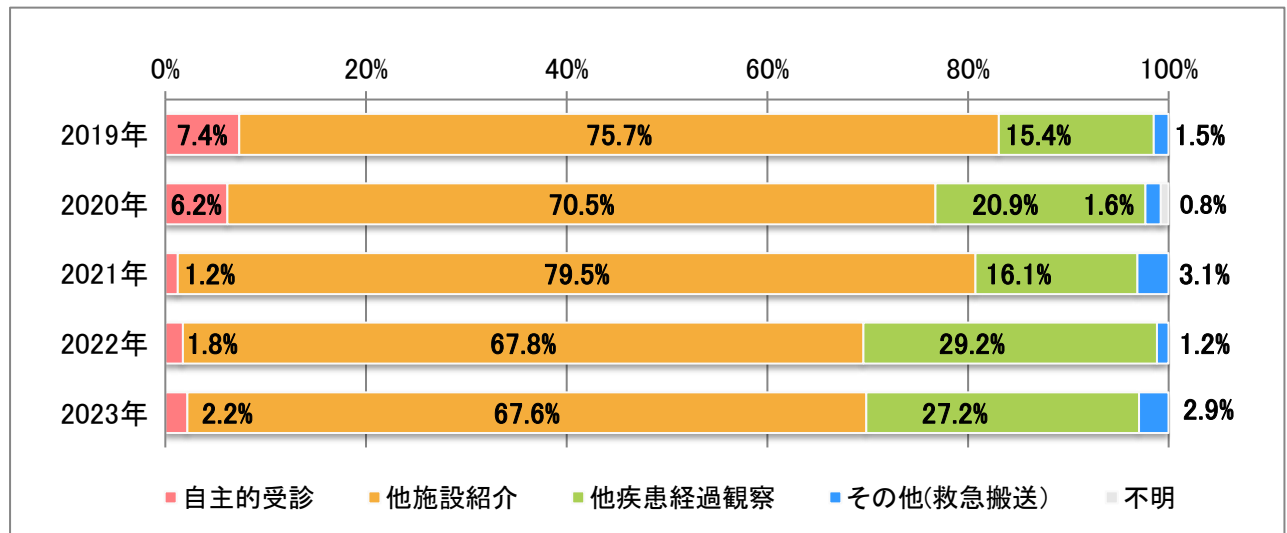


来院経路の推移

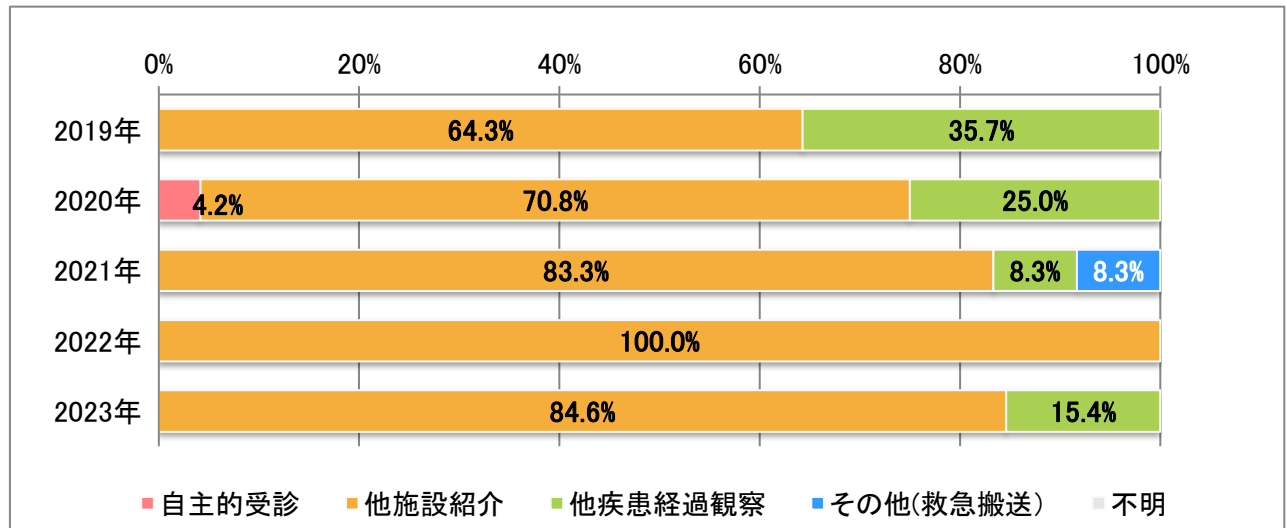
【胃】



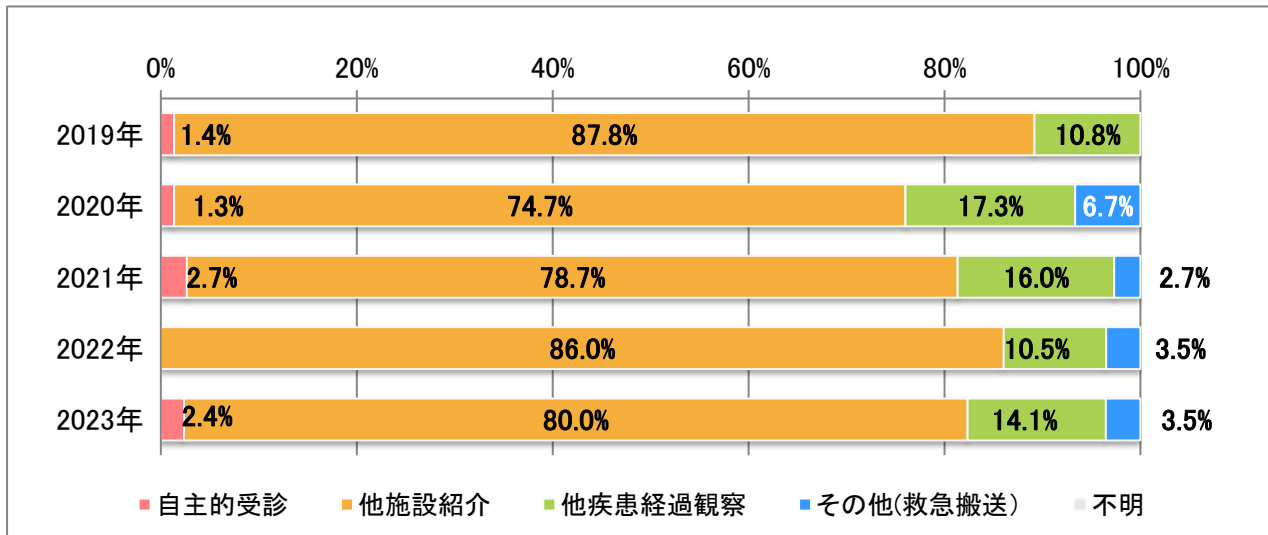
【大腸】



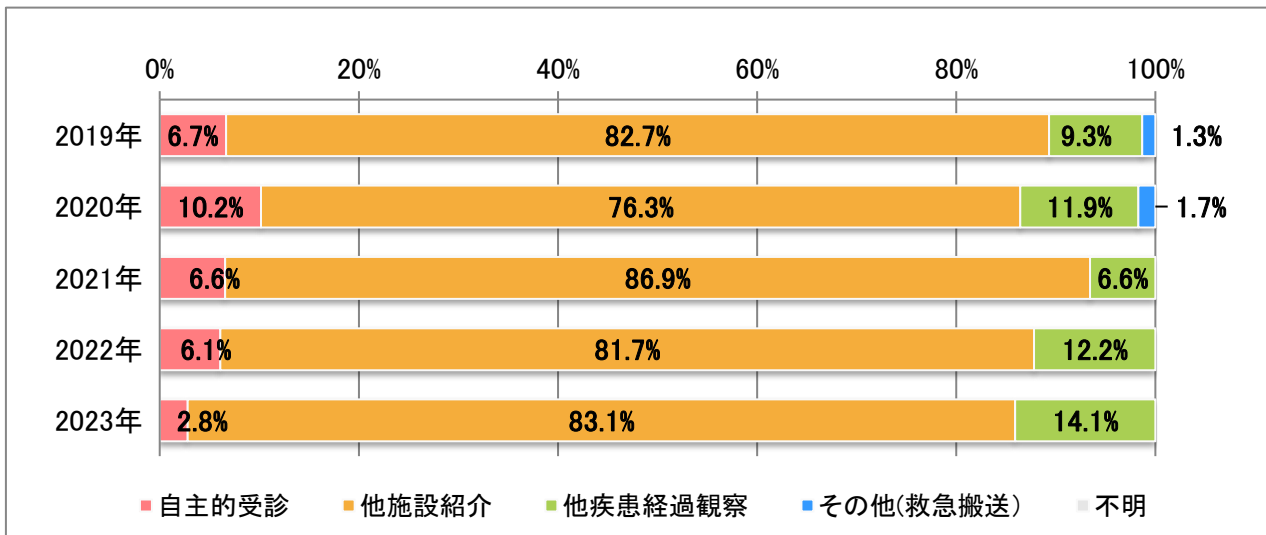
【肝臓】



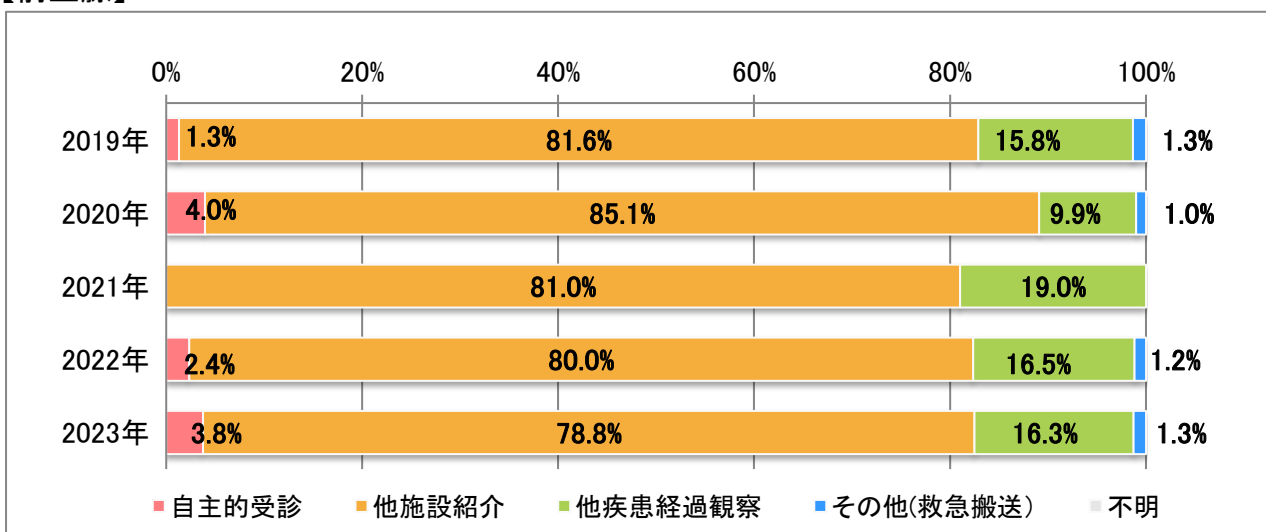
【肺】



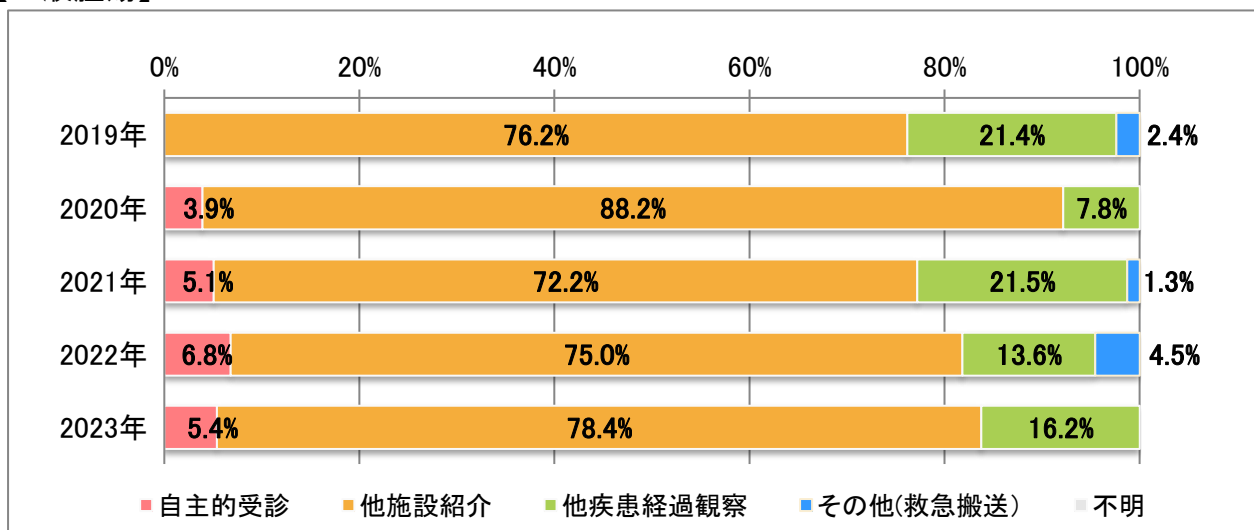
【乳房】



【前立腺】



【血液腫瘍】

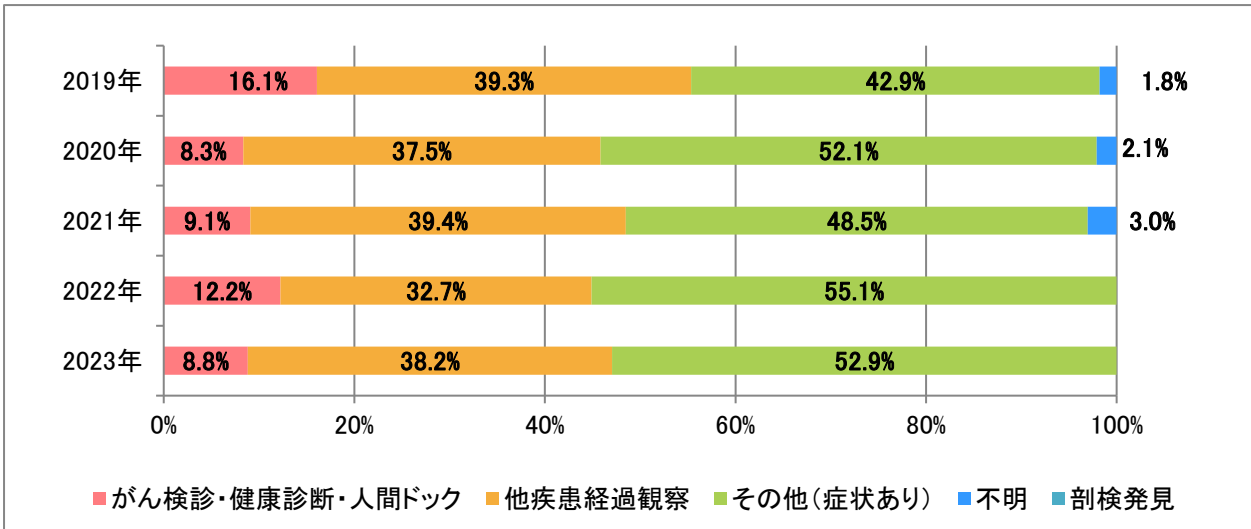


来院経路は、がん患者さんがどのような経路によって自施設を受診したのかを把握するための項目です。「自主的受診」とは他施設からの紹介等ではなく、自主的に自施設を選択して、初診した場合のことです。「自施設での他疾患経過観察中」とは、自施設で他疾患の経過観察中に、がんと診断あるいはがんが疑われた場合のことです。

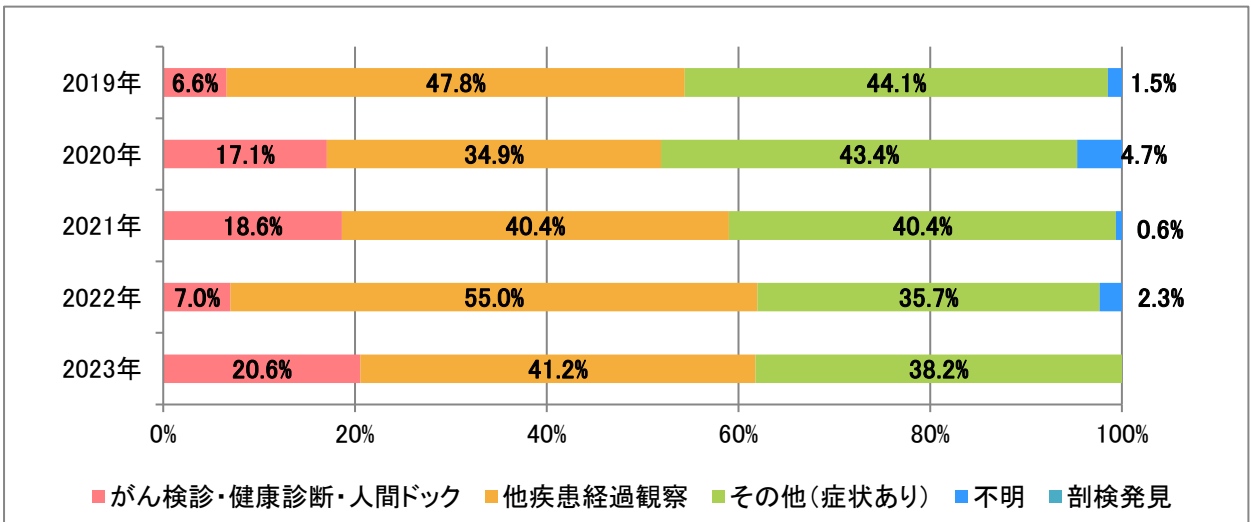
当院では、「他施設からの紹介」の割合が高く、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院として、診療所や病院からの紹介を受けております。がん医療の中心的な役割を担い、専門的ながん治療の提供、医療機関同士の連携体制の構築、患者さんやご家族への相談支援と情報提供を行います。

発見経緯の推移

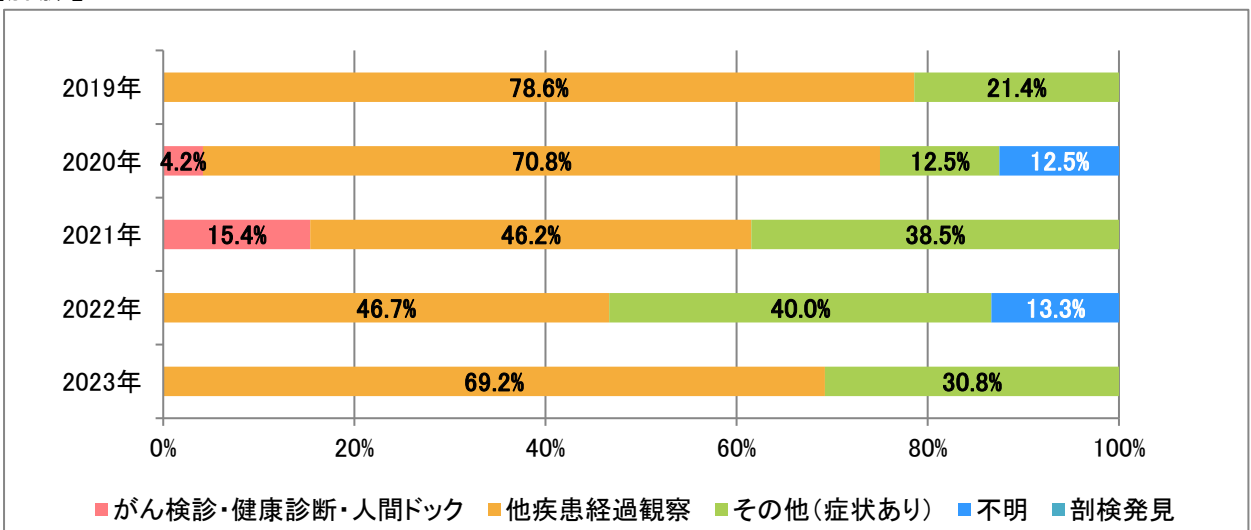
【胃】



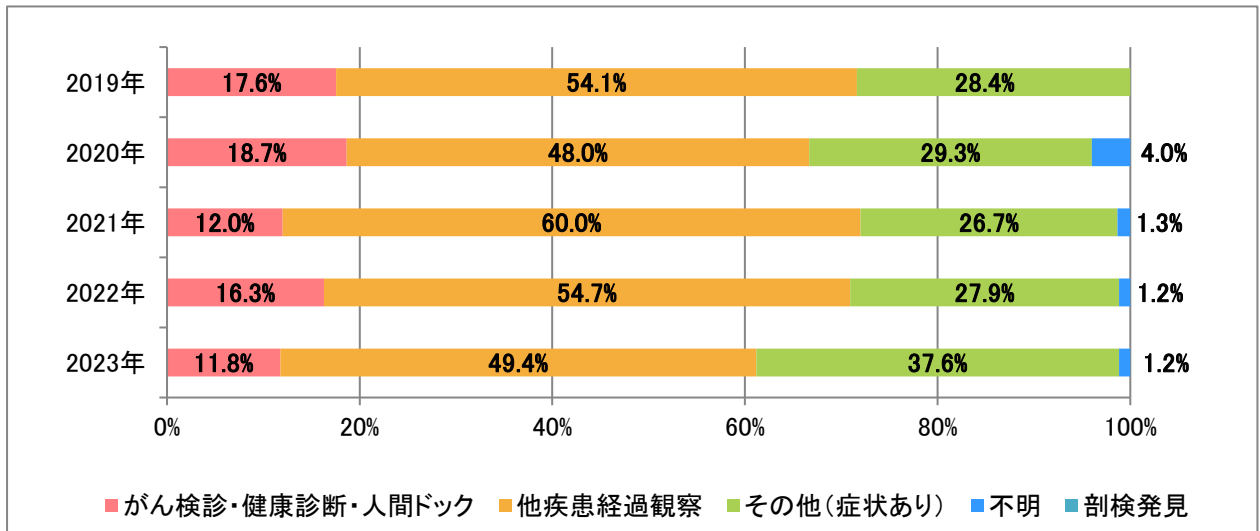
【大腸】



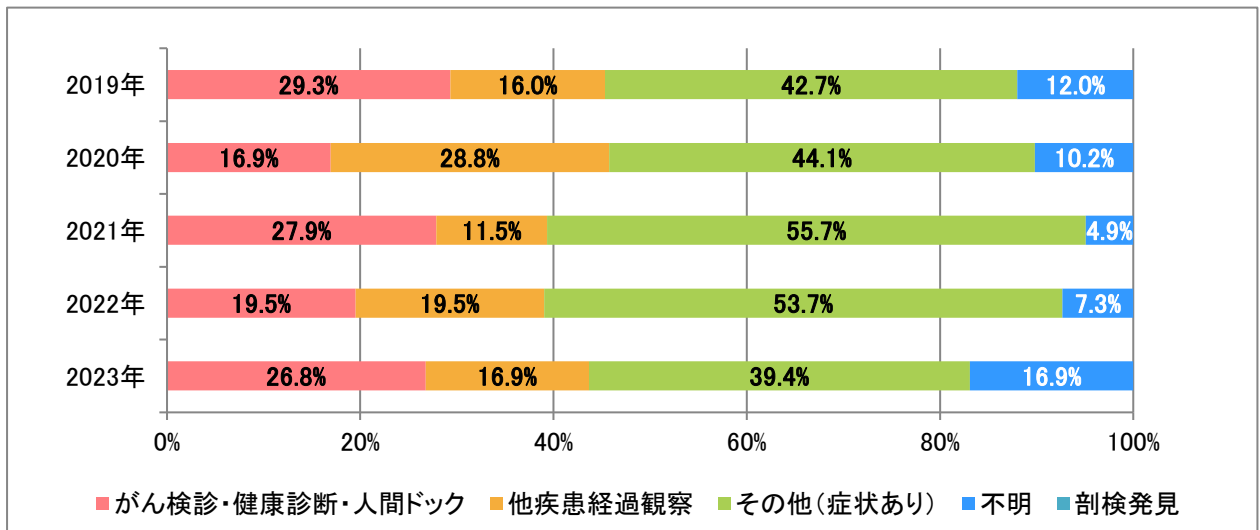
【肝臓】



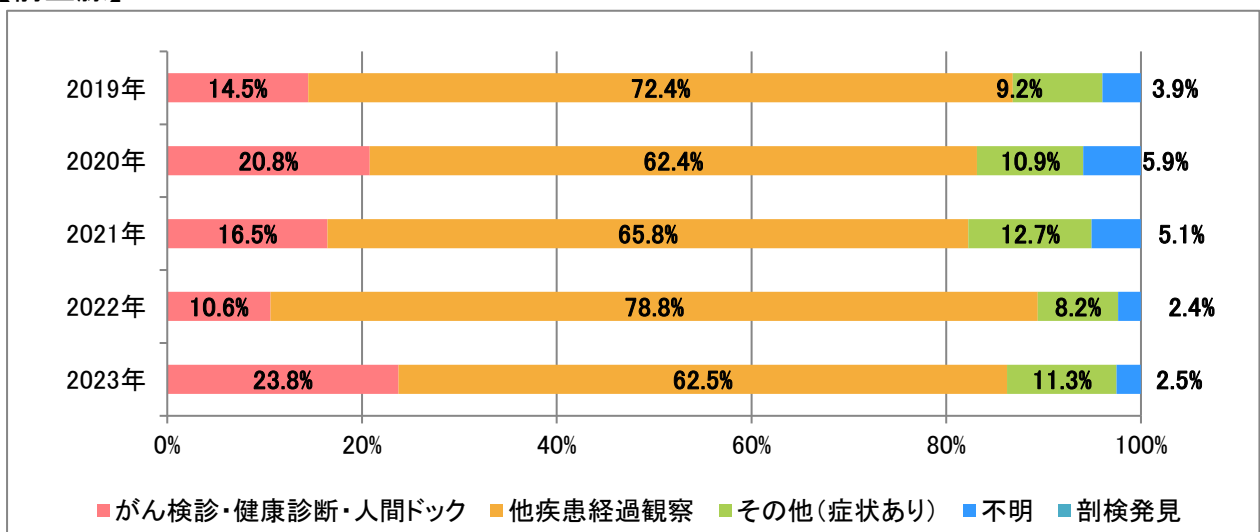
【肺】



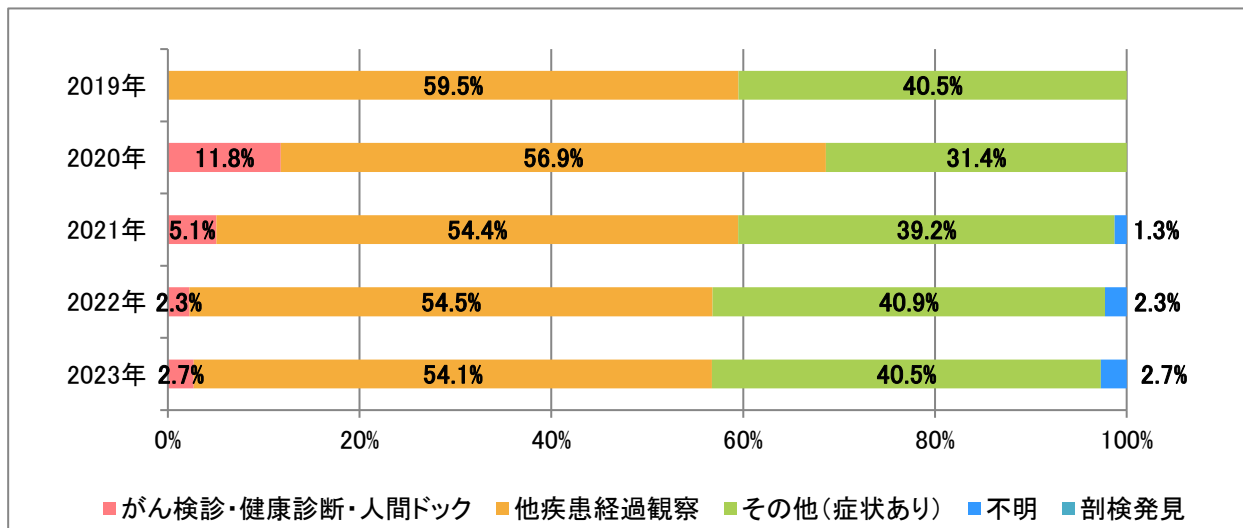
【乳】



【前立腺】



【血液腫瘍】



発見経緯とは、がん患者さんが「がん」と診断されるきっかけとなった状況を把握するための項目です。「その他」は、患者さんがなんらかの症状があり医療機関を受診した際に、がんと診断あるいは疑われた場合、この項目に登録されます。

当院では、「他疾患(当該疾患を含む)経過観察」中の偶然発見の割合が高く、長期の経過観察での発見、登録したがん以外の疾患を診ている中での発見が比較的多い事が特徴です。他疾患の術前検査などで発見されるケースもあります。

地域医療の拠点、救急医療の中心として、がん以外様々な疾患を診ている表れではないかと考えます。

今回のテーマは **前立腺がん** です

上位登録数

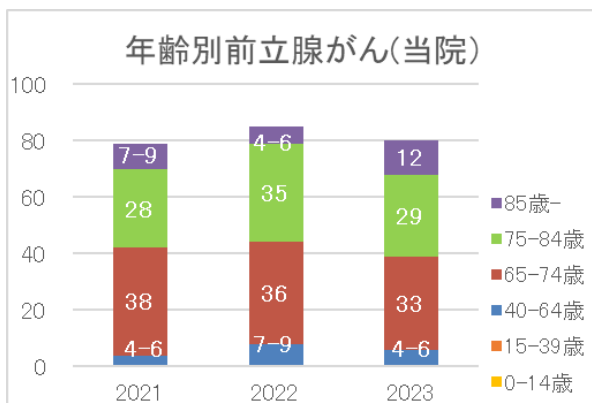
	当院	全国
1位	大腸	大腸
2位	肺	肺
3位	前立腺	乳房
4位	乳房	前立腺
5位	胃	胃

《男性》上位登録数

	当院	全国
1位	大腸	前立腺
2位	前立腺	大腸
3位	肺	肺
4位	膀胱	胃
5位	血液	肝臓

前立腺がんは、男性のみにもかかわらず上位へ位置し、当院でも全国でも3位以内にランクインしています。

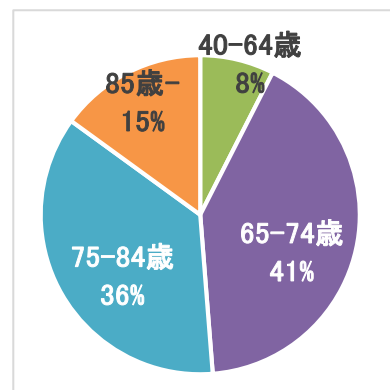
2021～2023 年齢別登録件数と割合（当院、長崎県）



	2021		2022		2023	
	当院	長崎県	当院	長崎県	当院	長崎県
0-14歳	0%	0%	0%	0%	0%	0%
15-39歳	0%	0%	0%	0%	0%	0%
40-64歳	5%	13%	10%	13%	8%	10%
65-74歳	48%	44%	46%	45%	41%	44%
75-84歳	35%	34%	44%	35%	36%	36%
85歳-	11%	9%	8%	7%	15%	10%

2023 年齢別登録件数と割合（当院）

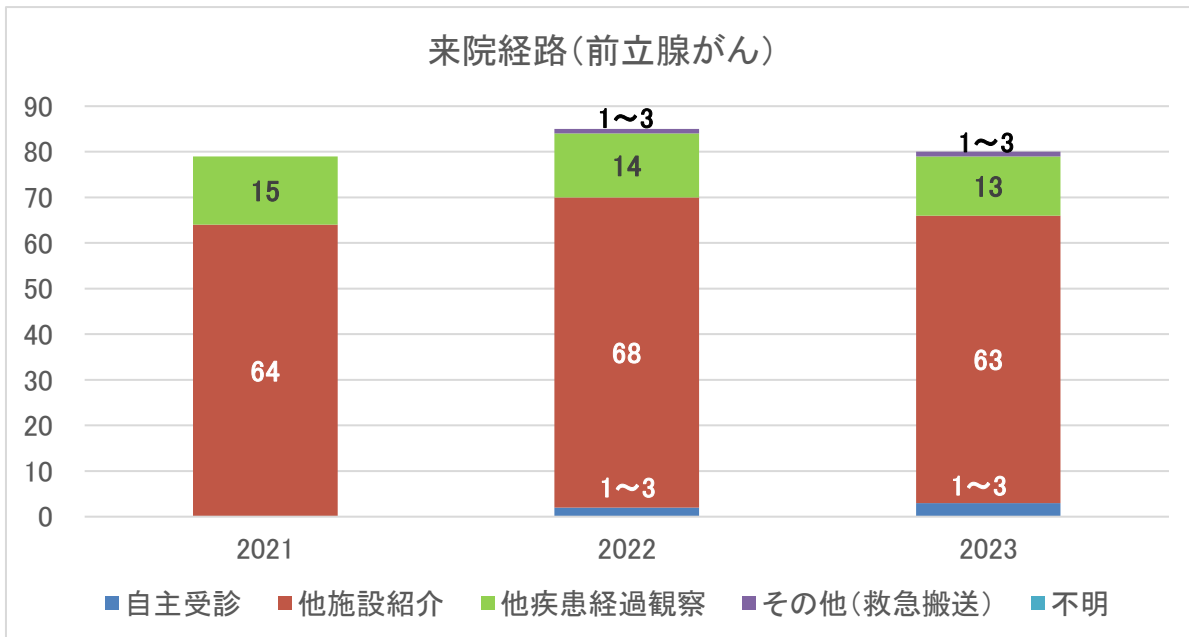
	2023	平均	中央値
0-14歳	0	75.6	75
15-39歳	0		
40-64歳	4~6		
65-74歳	33		
75-84歳	29		
85歳-	12		



年齢別で見ると40歳未満は0でした。

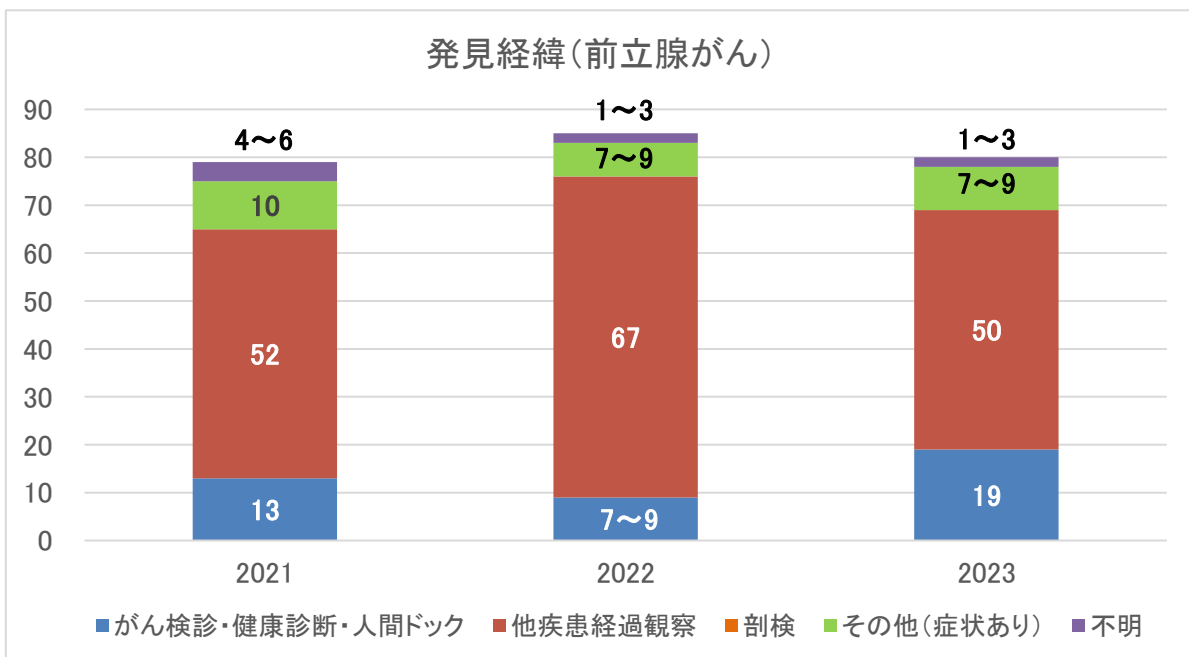
40-64歳でわずかにいますが、実際は50代半ばころから罹患し年をとるにつれ増えるがんと言えます。当院と長崎県を比較しても、ほぼ同じような割合でした。

来院経路



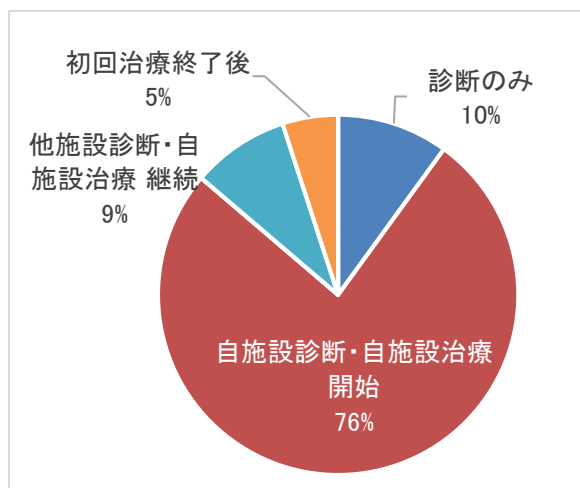
来院経路は、毎年ほぼ横ばいで約8割が他施設紹介による受診となっています。

発見経緯



発見経緯は、2023年は2022年に比べると健診による発見が増え、他疾患経過観察による発見が減りました。昨年の登録数減少によるものと考えられます。

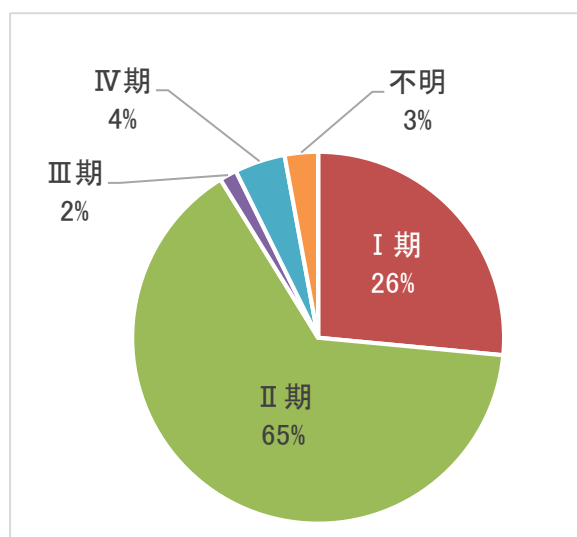
症例区分



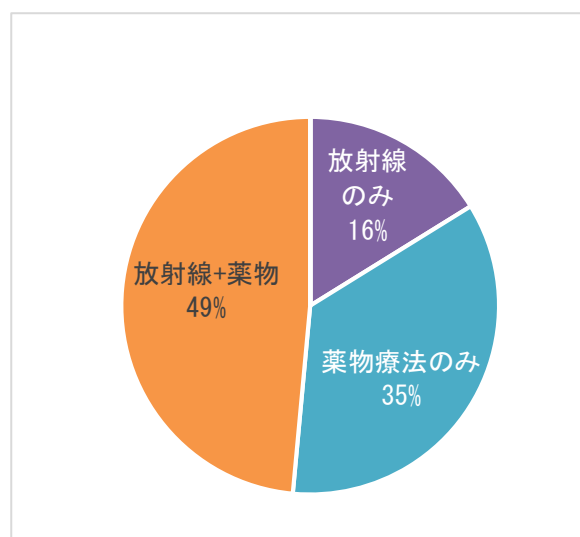
	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例)	68	85.0%
自施設でがんが診断された症例	69	86.3%

症例区分について、8割が当院で診断し、当院で初回治療を開始しています。診断のみのみが1割ですが、手術目的による他院への紹介がほとんどです。

総合ステージ



治療方法



ステージはI期・II期で約9割を占め、III期・IV期は全て合わせても1割以下でした。治療は、放射線と内分泌療法による複数治療が約半数でした。

前立腺がんは、5大がん(胃・大腸・肺・乳房・肝臓)に比べるとなじみの少ないがんですが、高齢男性に多いがんです。また、前立腺以外にも泌尿器系のがんは、腎・膀胱・尿管・腎盂・尿道と分かれており、当院の登録数でも約2割を占めています。前立腺がんは、採血により発見できるので、初期の段階での発見がほとんどです。当院では、放射線と内分泌療法(ホルモン療法)による治療が主となっていますが、ダヴィンチが保険診療可となってから早期がんについては内視鏡手術支援ロボットによる手術も選択肢の一つとなっています。県内には5カ所あり、希望があれば紹介となります。前立腺がんの場合は、早期発見・治療できれば予後が良いがんです。定期的な検査で早期発見に努めることが健康な生活を長く送るために非常に重要です。

院内がん登録室より

長崎県島原病院の2023年腫瘍集計報告(院内がん登録)が完成いたしました。2018年に初号巻症例の報告を2019年に行い、今回6巻目の腫瘍集計報告となります。2023年1月から12月の1年間の当院での院内がん登録情報をごんの種類別や年齢別等でまとめたものです。

院内がん登録は、当院でがんの診断・治療を受けたすべての患者さんについて、がんの情報(部位、組織型など)、治療情報、予後情報を収集し登録する仕組みです。

当院は厚生労働省から「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受け、平成19年(2007年)4月より「院内がん登録」を開始し、現在は平成28年(2016年)1月に施行された「がん登録等の推進に関する法律」に基づいて登録を行っています。

全国の病院が同じルールで情報を収集して、国立がん研究センターで行っている全国集計および全国がん登録へ情報を提供し、当院をはじめとして県や国のがん診療の実態を把握することで、がん診療の質の向上や患者さんの支援に役立てられています。

長崎県には8施設(国指定6施設・県指定2施設)のがん診療連携拠点病院があり、国が指定する登録様式(がん診療連携拠点病院院内がん登録標準登録様式(2016年修正版))に沿って院内がん登録を実施することが法律で義務付けられています。

個人情報、個人情報保護法、医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン、長崎県病院企業団個人情報保護条例、当院の院内がん登録業務規程などを遵守し、安全確保に最大限の注意を払っております。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

当院は、県内でも高齢化の進んだ地域を診療圏としていて、医療連携により島原半島の多くの医療機関から多くの患者さんをご紹介いただいています。当院のがん診療情報を国の疫学的研究や医療体制の基礎情報として報告することで、これからの「がん診療」の発展に大きく貢献できるものと思われます。ホームページでも当院や長崎県のデータを公開していきますので、患者さんをはじめ地域の皆様に、がん治療の情報としてお役にたていただければと思います。

2025年10月

院内がん登録室長(病理診断科 診療部長)
林 徳眞吉

[院内がん登録室]

がん登録室では、厚生労働省の定める「標準登録様式」に基づき、どのような患者さんがどのような経過で当院を初めて受診され、どのような治療を受けたかなどを登録しています。治療後の経過(生存確認調査)についても定期的に調査を行っています。

がん登録を行うため、国立がん研究センターのがん登録中級認定の試験を受けるなど、定期的に研修に参加して登録精度の向上に努めています。

当院のがん診療情報をできる限りわかりやすくまとめ、当院の状態を皆さまにもわかって頂けるような資料として、ホームページ等でもがんに関する情報を公開してまいります。

長 崎 県 病 院 企 業 団

長 崎 県 島 原 病 院

〒855-0861 長崎県島原市下川尻町 7895 番地

TEL.0957-63-1145 FAX.0957-63-4864

<http://shimabarabyoin.jp/>



長崎県島原病院
NAGASAKI PREFECTURE SHIMABARA HOSPITAL